

海の地球ミュージアム 2018 報告書

会期：平成 30 年 7 月 13 日～9 月 2 日

開催場所：六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー
室内展望台 スカイギャラリー1



特定非営利活動法人 ELP (Earth Literacy Program)

目 次

ページ

「海の地球ミュージアム 2018」ポスター	2
「海の地球ミュージアム 2018」配布リーフレット	3
1. はじめに 代表理事ご挨拶	5
2. 催事概要	6
3. ミュージアム企画主旨	7
4. 展示、催事の概要	8
5. 広報活動	28
6. 来場者数実績と来場者からの評価	33
7. 運営のポイント	36
8. 今後の課題	37
9. 収支報告	38

【関連資料】

ページ

(1) 「海の地球ミュージアム 2018」展示マップ	43
(2) 「海の地球ミュージアム 2018」全体スケジュール	44
(3) イベントリリース一覧	46
(4) 子ども事前・事後アンケート	48
(5) 大人事前・事後アンケート	52
NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) 活動紹介	56

<別府 CD>

- ・ TOKYO MX NEWS
- ・ 「海の地球ミュージアム 2018」記録映像

以上

[「海の地球ミュージアム 2018」ポスター]

さわ 地球に触ろう、地球と遊ぼう

誰でもその手で、地球に^{さわ}触って、遊んで、楽しく学べる
デジタル地球儀^{さわ}「触れる地球」が六本木ヒルズ展望台に出現。
地球のふしぎに満ちた「海」をテーマにした体感型ミュージアムです。
ザトウクジラの親子、マンタ、ジンベエザメなどが回遊する
迫力の映像が空中に浮かぶ夜景空間へ、ようこそ。



海の地球ミュージアム 2018

2018.7.13^木-9.2^土
10:00~22:00 ※最終入場 21:30

場所 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー
スカイギャラリー1(森タワー 52階)
入場無料(展望台入館料別途) お問い合わせ 03-6406-6652 URL: tcv.roppongihills.com/

主催 特定非営利活動法人 ELP (Earth Literacy Program) / 東京シティビュー 特別協賛 日本財団「海と日本プロジェクト」 協賛 味の素(株) / ELGC(株)アヴェダ
協力 (一財)沖縄美ら島財団 / ソニー企業(株) / 日プラ(株) / (株)内田デザイン研究所 / アズラボ(株) / 福田ハジメ / (株)ウェザーニューズ
ナショナル ジオグラフィック(TV) / 国立研究開発法人海洋研究開発機構 後援 文部科学省 / 環境省 / 農林水産省 / (一財)沖縄観光コンベンションビューロー

※画像はイメージです。

〔「海の地球ミュージアム2018」配布リーフレット〕

水槽

透明な巨大アクリル水槽に、沖縄・美ら海水族館の全面協力により、黒潮が育んだカラカラの魚の世界が出現。時おり砂地からチンアナゴの顔を出す、海の豊かさを体感しよう。

迫力の映像

52階の高さからひらく大東東の夜景を背景に、サトウヅシラが選泳する迫力の映像。最新のARジェンテーション技術を使い、空中に浮かぶ展望台が海の底は変わる錯覚を不思議な空間、地球の母なる海の不思議を体感して遊ぼう。

親子で楽しめる 子ども地球教室 KIDS WORKSHOP

毎週土日に、海や魚にむくむく博士がソクソク登場！サメの出産（？）について超サメ博士、海竜巻かしてくる龍ゴの脈、海のコシ問題をおさるのミカメ博士、海と天気と地球温暖化について語る天気博士、…海のフシチとオロロキの海洋生物について学んでキミも海の知識博士になろう！

サメ博士

サメは魚なのに、お母さんが子どもを育てて産む？

サメ博士

サメ博士は魚のおアシタ、気象の正しい知識の海竜巻かしてくる龍ゴについて学ぼう！

ウミガメ博士

日本の海はウミガメの国豊な海。海竜巻かしてくる龍ゴ、いまだ大切なこととは？

触れる地球 アビゲーター

最先端のデジタル地球儀を使い、台風と海の関わり、地球温暖化の本質を探る。

海の地球ミュージアム 2018

“地球目録”でものを考える、文字通りの「地球人」は存在しない——。「触れる地球」はそんな思ひから、Literacy Program（代表）が中心となって開発した、次世代のオンタナクアリアナ地球儀です。

リアルタイムの海の様子、地球の温暖化、台風・津波の発生過程、渡り鳥の移動など、地球のダイナミクスを生きかたから体感できます。自分の手で回して地球の裏側を覗き込み、山嵐がインダを伴って地球上のいろいろな場所を人へ海星の視点で探検することもできます。ユーザーによるコメントをリアルタイムで表示したり、使用済みのユーザーに応じて多様なメンテナンスが可能です。

地球時代と言われているが、私たちの経験はますます狭い範囲に限定され、地球に生きるいろいろな感覚を失っています。地球規模問題といわなくても全体的な視点を持って、なかなか実感できないのが現実です。真のGlobalismは、宇宙に浮かぶ一島の地球（Global）として地球を認識しなごころから始まるのではないのでしょうか？

地球規模的想像力の新たなプラットフォームをデザインすること、この地球儀はその第一歩であり、ゆびやくはこした「生きた地球」が一家に一台、静かに置きつつ覗いていくような未来を見据えています。



竹村 寛一
京都府立総合技術専門学校 NPO 法人 ELP 代表、単門の人間学と地球規模的想像力のプラットフォーム 100 万人のオンタナクアリアナ「Water 界」の企画・制作、各津で海は地球ミュージアムを主宰、東京大学大学院、政府の復興政策会議、専門委員、国連アカデミーと共催の、著書に「地球の目録」、宇宙船など。

【主催】 NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program)、東京スタイル・日本財団（海星の目録の制作）

【特別協賛】 株式会社「触れる地球」

【協賛】 (一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球

【協力】 ナカエリ、サトウヅシラ、(一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球

【後援】 文部科学省、環境省、農林水産省、(一社) 触れる地球、(一社) 触れる地球

【お問い合わせ先】 NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) 事務局
Tel: 03-6433-3259 Email: tem.info@elp.or.jp
受付時間 10:00~18:00(土日・祝日を除く)
【アクセス】 東京都目黒区目黒 六本木駅 徒歩 4 分（都営地下鉄目黒線）
東京都目黒区目黒 六本木駅 徒歩 4 分（都営地下鉄目黒線）
東京都目黒区目黒 六本木駅 徒歩 4 分（都営地下鉄目黒線）
東京都目黒区目黒 六本木駅 徒歩 4 分（都営地下鉄目黒線）



六本木ヒルズ
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台
六本木ヒルズ展望台

触れる地球

今月は舞台を六本木ヒルズ展望台へ32階展望台に移し、夏休み恒例の「海」に焦点をあてて開催します。

地球はその表面の7割を海で覆われています。「水球」でも私達は、どれどは海と地球について知っているのでしょうか？

海に背を向けた文明は、地球と生命の本質に背を向けた文明、海や魚をよみながら、水害や津波にも強いまちを子どもにも理解しやすくするために、あらためて海を知り、この「水球」に生きる仲間を探ってみよう。

今回はモナコ海洋博物館でも話題の美しい水球（日アラ製）に、沖縄・美ら海水族館の協力で、色とりどりの魚が乱舞する黒潮の海を再現。最先端のデジタル技術で、宇宙からのマクロな目で再び発見する地球と海。夜更に眺める地球ミュージアムには、サトウヅシラやジンベエザメが舞う。進化した「触れる地球ミュージアム」に是非ご来場ください。



誰でもその手で「地球」に触って遊んで、楽しく学べるデジタル地球儀「触れる地球」が、地球のふしぎに満ちた「海」をテーマにした体験型ミュージアムです。

サトウヅシラの親子、マンタ、ジンベエザメなどが回遊する迫力の映像が空中に浮かぶよ夜東京空間へ、ようこそ。

2018.7.13 日 - 9.22 日

10:00~22:00 ※最終入場 21:30

会場 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー
所 スカイギャラリー1 (森タワー52階)

入場料（小学生以上）：大人 ¥600 小学生 ¥400 幼児 ¥200
詳細はウェブサイトへ。 www.elp.or.jp

3

海の地球ミュージアム
2018
展示コンセプト

5つの魅力が
相乗効果
一体化したシナジーで
海と地球を
リアルに体感!!

1.
屋は、海抜250mの展望台から
眺めるリアル東京湾(海)

展示期はこの穴本七尾島のすぐ足元まで東京湾が来ていた?
2万年前の氷河期には海面は低く、東京湾はなかった?

2.
夜は、東京の夜景に映る海中映像で、
52階展望台が海の中のような空間に!

クジラ、マンタ等(海)をテーマとした
プロジェクトコラボレーション。

3.
美しい水槽と色とりどりの魚
「ミニチュア黒潮生態系」

亜寒帯の海が玄室に浮めぬ

4.
8台の「触れる地球」で全球視野(手回し)で
見る「海の過去/現在/未来」

手回しで地球を回すようにリアルタイムの
雲の動きや気象の発生場所がわかる!
数百年の大気移動から、今世紀末の温暖化の行方まで。

5.
美ら海水族館の「サンゴ博士」「サメ博士」
「ウミガメ博士」他によるトークショー
つもりの海と生きもののが、まったく異なる姿を見せて来ます。

海の地球ミュージアム
2018
会場マップ

8つの「触れる地球」で何が見られる?

海のダイナミズム
・1日で地球を半周する沖波
・海をよみかえらせる台風
・黒潮がもたらす意外な海流

海の生きもの
・クジラはなぜ北を目指す?
・北極と南極を往復する渡り鳥がいるって本当?
・ペンギンはなぜ-60℃の南極に棲むことになったか?

海の地球世界史
・2万年前、海面は今の120メートルも低かった
・なぜ世界中にリアの箱型の水産物があるのか?
・なぜコンパスはアフリカ経由で新大陸に向かったのか?

海と地球温暖化
・海水温が高くなると台風が大型化する?は本当か?
・地球温暖化で北極の水が高くなると困るのはシロクマより私たち人間?
・「パリ合意」で変わる、地球温暖化の未来

新たな海の発見
・宇宙から地球を診る(地球と海の健康診断)
・深海と海底地形の発見(西之島は富士山より高い?)
・海面上昇と沿岸都市 TOKYOのリスク

呼べば応える地球儀?
ライブカメラで観る、世界の都市のいま、日夜の北極...

海と地球の未来
2030年、人類は「海中」で暮らす?

WORKSHOP SPECIAL GUESTS
子ども地球教室の講師一覧

7/15(日)
新たな「海」の発見——「触れる地球」で見る、宇宙のなかの「水球」の魅力
竹村 隆一
(触れる地球展特別展、星と地球ミュージアム主催)

7/22(日)
生きものの常識が変わる!?——見えてきた魚たちの複雑な生きざま
沖繩美ら海水族館 副館長：佐藤圭一氏

7/29(日)
海と生きものを守るために、いま大切なこと
沖繩美ら海水族館 魚類チームリーダー：河津航氏

8/12(日)
地球最後のフロンティア——海中生活が当たり前になる未来
オーシャンズバイラル 代表取締役：米澤敬哉氏

8/19(日)
知っていますか?——サンゴやサンゴ礁の知られざる事実
沖繩美ら島財団 総合研究センター 総括：野中正法氏

8/25(土)
地球目線で考える、海とお気味の関わり——台風、黒潮、北極、エルニーニョ
テレビ朝日(報道ステーション)防災キャスター・気象予報士：番田勝氏

8/26(日)
次の津波災害に備える
東北大学災害科学国際研究所長、津波工学教授：今村文彦氏

ナショナルジオグラフィックなどのコラボレーションイベントやトークショーを開催予定。詳しくは公式HPで。

はじめに

社会経済のグローバル化と地球環境危機の時代において、地球と人類が直面する諸課題に対する正しい理解の促進は、世代を超えた教育課題として最も重要なテーマとなりつつあります。こうした社会ニーズに応え、NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) では毎年夏「触れる地球ミュージアム」を開催し、子ども達から家族連れ、高齢者、インバウンド外国人等にむけ、世代を超えた地球環境教育の場を提供してまいりました。

「触れる地球」は最先端のデジタル技術を駆使し、日本が誇る衛星観測やコンピュータシミュレーション等による地球環境の最新データを表示する地球環境教育の先駆的ツールであり、国連本部やダボス会議、伊勢志摩サミット等でも展示・デモ講演を行なってまいりました。それは日本の科学技術の精華を国際的に発信する手段でもあります。

2018 年度は森ビル（株）との共催で、家族連れやインバウンドが多数来館する六本木ヒルズ展望台において、特に季節に因んだ話題として「海」に焦点をあて、「触れる地球」8 台と黒潮の生態系を再現した水槽の展示などを行ないました。それらを通じて、地球目線でみた黒潮と海洋国家・日本の豊かさ、衛星観測が可視化する地球環境と海の現状（温暖化、汚染、ゴミ問題、水産資源の減少・劣化など）、遠くて実感の湧かない北極海の現状や未来の気候変動リスク、その解決にむけた方策（温暖化対策の「パリ合意」の意義など）を広く訴求しました。

全球的なスケールで海洋や海の生物多様性、気候変動データを表示しうる世界初のデジタル地球儀「触れる地球」と、海の生物のリアルな体験を提供するタッチプール・巨大水槽（沖縄美ら海水族館と日プラ（株）の全面協力による）、そして 3D 水中映像など最先端のビジュアル技術を駆使して、斬新な手法で「海」の豊かさと重要性についての理解向上を図るユニークな展示イベントを開催することが出来ました。

本イベント開催にあたり、共同主催者として会場を提供いただいた森ビル株式会社・東京シテイビュー、特別協賛を頂いた日本財団、またご協賛・ご協力をいただいた美ら海水族館、日プラ（株）、味の素（株）、ELGC（株）アヴェダ、ソニー企業（株）、国立研究開発法人海洋研究開発機構をはじめ、数多くの企業・団体・個人クリエイターの皆様に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

平成 30 年 11 月 30 日

「海の地球ミュージアム 2018」企画・主宰者
NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) 代表
京都造形芸術大学教授 竹村眞一

催事概要

催事名称：海の地球ミュージアム 2018

主催：特定非営利活動法人 ELP (Earth Literacy Program)、
六本木ヒルズ・東京シティビュー

特別協賛：日本財団「海と日本プロジェクト」

協賛：味の素（株）、ELGC（株）アヴェダ

協力：（一財）沖縄美ら島財団、ソニー企業（株）、日プラ（株）、（株）内田デザイン研究所、アズラボ（株）、福田ハジメ、（株）ウェザーニューズ、ナショナルジオグラフィック（TV）、国立研究開発法人海洋研究開発機構

後援：文部科学省、環境省、農林水産省、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

会期：平成30年7月13日（金）から同年9月2日（日）まで

会場：六本木ヒルズ展望台
東京シティビュー スカイギャラリー1（森タワー52階）

開館時間：10:00 から 22:00（最終入場 21:30）

休館日：なし

入場料等催事参加費：無料
※ただし、展望台入館料が必要

以上

1. 企画主旨（以下は開催主旨として事前告知した内容）

「海の地球ミュージアム 2018」へようこそ！

今年は舞台を六本木ヒルズ 52F 展望台に移し、夏休み恒例の「海」に焦点をあてて開催します。

地球はその表面の7割を海でおおわれた「水球」・・・。

でも私たちはこの数十年、いくぶん海に背を向けて街をつくってきたかもしれません。

海に背を向けた文明は、地球と生命の本質に背を向けた文明。

海や魚をよみがえらせ、水害や津波にも強いまちを子ども達にプレゼントするために、あらためて海を知り、この「水球」に生きる作法を探ってみたい。

今回はモナコ海洋博物館でも話題の美しい水槽（日プラ製）に、

沖縄・美ら海水族館の協力で、色とりどりの魚が乱舞する黒潮の海を再現。

最先端のデジタル技術で、宇宙からのマクロな目線で再発見する地球と海。

夜景に映る水中世界には、ザトウクジラやジンベイザメが舞う。

進化した「触れる地球ミュージアム」に是非ご来場ください。

以上

2. 展示・催事の概要

展示は、次の三つの柱で構成しました。

『デジタル地球儀』

前回同様、本 NPO 法人で独自開発した 5 機の中型デジタル地球儀「触れる地球」を設置。地球の現在（ライブ映像）、地球環境の豊かさとそのメカニズムを知り、地球温暖化シミュレーションなどで地球の未来を考える展示を行いました。

加えて、中型の機能に音声コマンド機能を追加した小型デジタル地球儀「Sphere」（スフィア）を 3 基設置。

『水槽』

沖縄・美ら海水族館の協力で、黒潮の魚たちが躍る美しい水槽が展望台に登場。トラフザメの幼魚、ヒトデ、カクレクマノミ、チンアナゴ、ルリスズメダイ、ハリセンボンなど、黒潮が育んだカラフルな魚の世界が出現。海を豊にするサンゴ礁の大切な役割、サメとクジラの秘密など、地球の母なる海の不思議を体感して学ぶことが出来る展示としました。

『プロジェクション・マッピング』

展望台の窓面では、東京の夜景をバックにザトウクジラの親子、マンタ、ジンベエザメなどが放泳する迫力の映像を投影。最新のプロジェクション・マッピング技術により、まるで海の底にいるかのような感覚を味わえる展示としました。

（日没後～22:00 に投影）

会場配置図及び会期中の全体スケジュールは、関連資料-1 と関連資料-2 に示しました。なお、入場、ワークショップ等の催事参加は全て無料としました。（ただし、展望台入館料は別途）

【2-1）デジタル地球儀】

2-1-1）デジタル地球儀「触れる地球」5台と「Sphere」3台の展示とプレゼンテーション

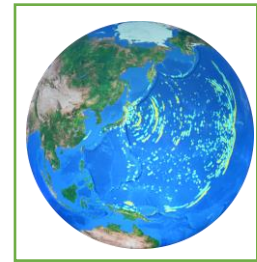
8機のデジタル地球儀には、インターネット経由で常時更新されるリアルタイムの気象データ、世界各地のライブカメラ映像、生物多様性関連データ（マグロ・クジラ・数種の渡り鳥などの移動航跡、植生変化、海洋プランクトン増殖など）、地震・津波とプレートテクトニクス、地球温暖化と気候変動など100以上の科学データを搭載し、操作パネルのメニューで随時選択して表示できる状態で展示。さらに以下のような1テーマ1分半～3分程度の17シナリオコンテンツを用意し、これらを組み合わせた形で特別な訓練を受けた「触れる地球」専門ナビゲーター（説明員）が来場者に説明を行いました。



<テーマとシナリオコンテンツ>

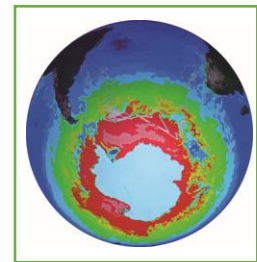
1. 海のダイナミズム

- ・1日で地球を半周する津波
- ・海をよみがえらせる台風



2. 海の生きもの

- ・クジラはなぜ北を目指す？
- ・北極と南極を毎年往復する渡り鳥がいるって本当？
- ・ペンギンはなぜ-60℃の南極に棲むことになったか？



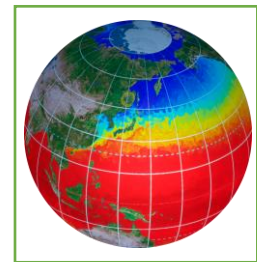
3. 海の地球世界史

- ・2万年前、海面は今より120メートルも低かった？
- ・なぜ世界中に「ノアの箱船」型の洪水神話があるのか？
- ・なぜコロンブスはアフリカ経由で新大陸に向かったのか？



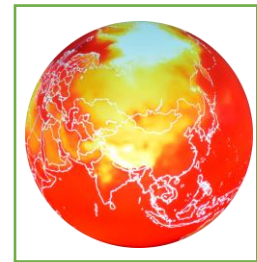
4. 海と地球温暖化

- ・「海水温が高くなると台風が大型化する」は本当か？
- ・地球温暖化で北極の氷が融けると困るのはシロクマより私たち人間？
- ・「パリ合意」で変わる、地球温暖化の未来

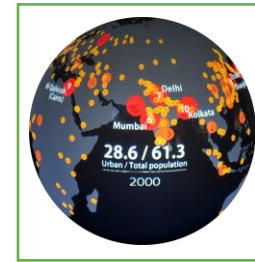


5. 新たな海の発見

- ・宇宙から地球を診る（地球と海の健康診断）
- ・深海と海底地形の発見（西之島は富士山より高い？）
- ・海面上昇と沿岸都市 TOKYO のリスク



6. 呼べば応える地球儀？
- ・ライブカメラで覗く、世界の都市の「いま」、白夜の北極など。



7. 海と地球の未来
- ・2030年、人類は「海中」で暮らす？

< 展示コンテンツリスト >

カテゴリ	タイトル	備考
地球環境	C02 濃度の増加と発生源	C02 排出シミュレーション解説
	地球温暖化 ; 2 つの未来	国連 IPCC の 2 つの温暖化予測シナリオを比較して表示 (RCP8.5/2.6)。人類の選択によって地球の未来が多く変わることを見やすく伝える。
	北極海氷の減少	北極海氷の減少状況を解説 *RT
大気	大気汚染と今	大気汚染の発生状況を解説 *RT
	コロンブスを運んだ風	地球の風系をコロンブスの航海で解説
海洋	太陽エネルギーを運ぶ海流	黒潮・北大西洋海流の働きを解説
	エルニーニョとラニーニャ	海と気候変動の関係、エルニーニョの発生状況と影響を解説 *RT
陸域と地形	世界の森林火災とその影響	温暖化の原因かつ結果でもある森林火災
	日本列島の地学的成り立ち	プレートテクトニクス、地震・津波
	東日本大震災とチリ地震津波	太平洋の両側で発生する大津波を解説
生態系	アジサシ、7万 km の渡り	北極と南極を行き来する渡り鳥の生態
	マグロの回遊	マグロの回遊パターンとその理由を解説
その他	メガシティの増殖	最大の人類的課題である都市問題
	奇跡の星、地球	地球と月・金星・火星との比較
リアルタイム	リアルタイム雲画像	最新雲画像を気圧配置や台風進路と表示
	世界のライブカメラ	地球を回しながらライブカメラ画像で世界各地の現在の様子を見る (「地球の窓」)

*RT と表示した北極海氷・大気汚染・エルニーニョ (海水温偏差) については、随時データを更新し、最新の状況が表示されるようにした

2-1-2) ワークショップ概要

<子ども地球教室> : 「触れる地球」を体験しつつ、専門家による海の生き物についてのレクチャーにより、海を豊かにするサンゴ礁の大切な役割、サメとクジラの秘密などを楽しく学べるワークショップを開始。地球の成り立ちや地球環境問題についてお子様にも分かりやすくレクチャーを行いました。

会期中、土日を中心に16回の開催。累計参加者数163名。

開催日、テーマと講師は次の通りです。

第1回～第3回 (2018.7.14(土)、7.15(日)、7.21(土) 11:00～11:45)

第5回 (2018.7.28 (日) 11:00～11:45)

第7回～第9回 (2018.8.4(土)、8.5(日)、8.11(土) 11:00～11:45)

第11回(2018.8.18(土) 11:00～11:45)、第15回(2018.9.1(土) 11:00～11:45)

第16回 (2018.9.2(日) 11:00～11:45)

「新たな『海』の発見－『触れる地球』で見る、宇宙の中の“水球”の魅力」

<講師> 竹村真一 (「触れる地球」開発者、「海の地球ミュージアム2018」主宰)

第4回 (2018.7.22 (日) 11:00～11:45)

「生きものの常識が変わる！？－見えてきた魚たちの複雑な生きざま」

<講師> 佐藤圭一氏(沖縄美ら海水族館 副館長)

第6回 (2018.7.29 (日) 11:00～11:45)

「海と生きものを守るために、いま大切なこと」

<講師> 河津勲氏(沖縄美ら海水族館 魚類チーム リーダー)

第10回 (2018.8.12 (日) 11:00～11:45)

「地球最後のフロンティア－海中生活が当たり前になる未来」

<講師> 米澤徹哉氏(オーシャンスパイラル 代表取締役・海中バルーン開発)

第12回 (2018.8.19 (日) 11:00～11:45)

「知っていますか？— サンゴやサンゴ礁の知られざる事実」

<講師> 野中正法氏（沖縄美ら海水族館 総合研究センター総括）

第13回 （2018.8.25（土）11:00～11:45）

「地球目線で考える、海とお天気の関わり— 台風、黒潮、北極、エルニーニョ」

<講師> 喜田勝氏（テレビ朝日[報道ステーション]お天気キャスター・気象予報士）

第14回 （2018.8.26（日）11:00～11:45）

「次の津波災害に備える」

<講師> 今村文彦氏（東北大学災害科学国際研究所長、津波工学教授）



【2-2）水槽】

事前に専門家によるレクチャーを受けた「触れる地球」ナビゲーター（説明員）たちが水槽の生物について説明。会期中の水槽・生物のメンテナンスのため、沖縄美ら海水族館とソニー企業のスタッフによるレクチャーを実施しました。また毎朝、水質調査と記録、給餌、水槽の清掃を行い、水質管理と生物の飼育・管理を徹底しました。水槽の生物用の生餌については、現場保管するために、会場バックヤードに冷凍庫を設置しました。

各々の生物の名前は、「水槽展示生物一覧」に示す通りです。（データ提供：沖縄美ら海水族館）



<水槽展示生物一覧>



和名 チンアナゴ
 学名 *Heteroconger hassi*
 英名 Spotted Garden Eel
 中名 哈氏異康吉鰻
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ニシキウズガイ
 学名 *Trochus maculatus Linnaeus*
 英名 ー
 中名 ー
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ルリスズメダイ
 学名 *Chrysiptera cyanea*
 英名 Blue Damselfish
 中名 藍刻歯雀鯛
 沖縄名 オーイユ

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ユビワサンゴヤドカリ
 学名 *Calcinus elegans*
 英名 Elegant hermit
 中名 ー
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。





和名 マンジュウヒトデ
学名 *Culcita novaeguineae*
英名 Cushion Star
中名 麵包海星/饅頭海星
沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 マガキガイ
学名 *Strombus luhuanus*
英名 Strawberry conch
中名 紅嬌鳳凰螺
沖縄名 ティラジャー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ハリセンボン
学名 *Diodon holocanthus*
英名 Long-spine porcupinefish/Balloonfish
中名 六斑ニ齒鈍
沖縄名 アバサー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ハタゴイソギンチャク
学名 *Stichodactyla gigantea*
英名 Gigantic sea anemone/Giant Carpet Anemone
中名 ー
沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。





和名 ニセクロナマコ
 学名 *Holothuria leucospilota*
 英名 Black sea cucumber
 中名 玉足海參
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



沖縄美ら海水族館
 Okinawa Churaumi Aquarium



和名 ナンヨウハギ
 学名 *Paracanthurus hepatus*
 英名 Palette Surgeonfish
 中名 擬刺尾魚
 沖縄名 ジュリグワークスク

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



沖縄美ら海水族館
 Okinawa Churaumi Aquarium



和名 トラフザメ (仔)
 学名 *Stegostoma fasciatum*
 英名 Zebra Shark
 中名 大尾虎鯨
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



沖縄美ら海水族館
 Okinawa Churaumi Aquarium



和名 デバスズメダイ
 学名 *Chromis viridis*
 英名 Blue Green Damsel
 中名 藍緑光鰓雀鯛
 沖縄名 オービカー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



沖縄美ら海水族館
 Okinawa Churaumi Aquarium



和名 ツノダシ
 学名 *Zanclus cornutus*
 英名 Moorish Idol
 中名 角鎌魚
 沖縄名 ハタムチ

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium



和名 スミレナガハナダイ♂
 学名 *Pseudanthias pleurotaenia*
 英名 Square-spot Fairy Basslet
 中名 側帯花鮨
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium



和名 コブヒトデ
 学名 *Protoreaster nodosus*
 英名 Horned Sea Star
 中名 朱古力海星
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium



和名 カワテブクロ
 学名 *Choriaster granulatus*
 英名 Granulated Sea Star
 中名 粒皮瘤海星
 沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。

沖縄美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium



和名 カクレクマノミ
 学名 *Amphiprion ocellaris*
 英名 Clown Anemonefish
 中名 眼斑海葵魚
 沖縄名 イヌビ

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 オトヒメエビ
 学名 *Stenopus hispidus*
 英名 Cleaner Shrimp
 中名 —
 沖縄名 —

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 ウミシダの仲間
 学名 *Comatulidae sp.*
 英名 Sea feather
 中名 —
 沖縄名 —

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



和名 アオヒトデ
 学名 *Linckia laevigata*
 英名 Blue Sea Star
 中名 藍指海星/蒼指海星
 沖縄名 —

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。





和名 ニセネツタイスメダイ
学名 *Pomacentrus amboinensis*
英名 Ambon Damsel
中名 安邦雀鯛
沖縄名 ー

※展示生物は予告なく変更、展示を中止する場合があります。



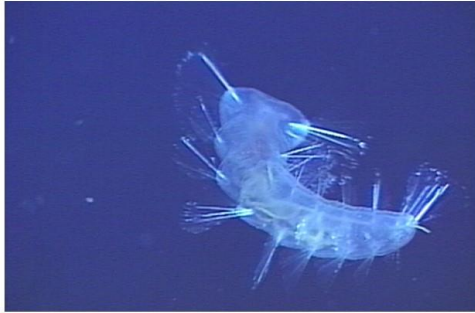
【2-3) プロジェクション・マッピング】

52 階の高さから広がる雄大な東京の夜景を背景にザトウクジラが遊泳する迫力の映像。アズラボ(株)と国立研究開発法人海洋研究開発機構の協力のもと、最新のプロジェクション・マッピング技術を駆使して、空中に浮かぶ展望台が海の底に変わる新鮮な不思議空間を演出しました。

投影した生物については、「プロジェクション・マッピングの深海生物一覧」に示す通りです。(データ提供：国立研究開発法人海洋研究開発機構)



<プロジェクト・マッピングの深海生物一覧>



名称 ゴカイの仲間
 種名 *Flota* sp.
 潜航海域 日本海溝 宮古東方陸側斜面



名称 サメハダホズキイカの仲間
 種名 Cranchiidae Prosch, 1849
 特徴 表面がサメの肌のようにざらざらして、驚いたりすると全身が丸く膨らむことから、その名がついた。体は透明で、敵から見つかりにくい。(出典：『なぞの深海生物』(あかね書房))



名称 ユメナマコ
 種名 *Eryniastes eximia* Théel, 1882
 特徴 口のまわりの触手は膜でつながり、さらに背中にたてがみのようなヒダもある。そして後部にも水かきのようなヒダがある。このヒダを使って海底から数メートルも浮遊し、深海の海流に乗り、より広い範囲の食べものを得ると考えられている。(出典：『深海のフシギな生きもの』(幻冬舎))



名称 ムラサキカムリクラゲ
 種名 *Atolla wyvillei* Haeckel, 1880
 特徴 傘はUFOのような形で、多くは22本の触手がある。その中の1本が長くのびていて、その触手にクラゲなどをひっかけてとらえる。また、刺激を受けると体を光らせる。(出典：『MOVE深海の生きもの』(講談社))





名称 ミズムシの仲間

種名 *Asellota* Latreille, 1802

潜航海域 三陸沖

【2-4）特別プログラム】

＜ナショナルジオグラフィックとのコラボ企画「地球のふしぎトークイベント」 — 番組上映会付き＞：宇宙飛行士が地球の神秘を語るナショナルジオグラフィックの新番組と「触れる地球」がコラボしたトークイベントを六本木ヒルズ森タワー3階のプレゼンテーションルームにて開催。(2018.8.22 (水) 19:00～20:45)

- ・「宇宙の奇石」上映：私達が住む地球は、いったいどんな惑星なのか？地球を宇宙から眺めた唯一の人類である元宇宙飛行士たちと番組ホストのウィル・スミスが贈る、地球の神秘に迫るドキュメンタリー番組を放映。
- ・トークイベント＜スピーカー 竹村眞一氏＞：「宇宙の奇石」第10話「故郷」では、宇宙飛行士の視点から「水惑星」としての地球の例外的な好条件、地球規模の「渡り」をする蝶、生物を脅かす気候変動や海洋プラスチックゴミ等の問題が描かれています。これを受けてデジタル地球儀「触れる地球」を用いて、関連する地球観測データを表示しながら、地球という星の精妙なメカニズム、迫りくる危機とその解決への希望について語りました。



【2-5）その他】

●館内音楽について

「海の地球ミュージアム 2018」館内を、オリジナル BGM にて演出。BGM 制作作曲家の福田ハジメ氏が担当。

<福田ハジメ氏プロフィール> <http://hajime-soultravel.com/>

ベルリンに拠点を持ちながら世界を渡り歩いて磨かれた旋律を奏でるピアノパーformer、作曲家。コンテンポラリーダンスとのコラボレーションを得意とする。ライブではピアノや共演者の音に特殊な残響をミックスした現代音楽の表現や、尖鋭な即興演奏を展開する。国内ではライジングサンロックフェス、海外ではベルリン日本大使館にて日本とドイツの国交150周年記念行事など約30カ国で演奏。アートの音響デザインも行う。近年ではスリランカ、ウクライナ、アイスランドなどで作曲活動を行う。



＜福田ハジメ氏コメント 「海の地球ミュージアム 2018」によせて＞

「今年の『海の地球ミュージアム 2018』ではプロジェクション・マッピングに合わせ、深海生物たちが深海の暗い空間に浮遊・去来するようなイメージでBGMを演出しました。また、昨年度の『丸の内・触れる地球ミュージアム 2017』の館内でBGMを流す際、他のノイズを相殺するために配置した『ノイズキャンセリング』のノウハウを活かし、熱帯魚飼育をする上で必要なエアレーションの音や会場内のあらゆるノイズを軽減させるサウンドデザインを行いました。このノイズキャンセリングは、来場者のためにより心地良い空間を演出するだけの装置でなく、環境の変化に敏感な水槽の中の生物たちにも音波をコントロールして極力ストレスフリーな空間を提供するための配慮でもありました。」

●外国人観光客対応

「海の地球ミュージアム 2018」が実施された東京シティビューには、連日非常に多くの外国人観光客が訪れ、統計は取れていないが多い日にはお客様の7割程度が外国人でした。欧米からアジア、アフリカに至るまで様々な国からのお客様を迎え入れ、語学堪能なナビゲーターがそれぞれ英語・中国語、スペイン語等で対応を行いました。また、「触れる地球」に英語コンテンツやナレーションを追加し、ナビゲーターがいなくとも展示を楽しめるようにしました。訪問者からは、丁寧な対応や「触れる地球」の説明に対し、賞賛と好評を得ました。

●触れる地球ナビゲーターの育成

「触れる地球」を使って解説を行なうナビゲーターは、昨年に行幸通り「触れる地球ミュージアム 2017」以来の経験者数名を中心に構成。今年から参加した経験の浅いナビゲーター（説明員）に関しては、会期前に「触れる地球」デモ研修を3回行いました。内容は、ナビゲーション訓練、新コンテンツ披露、竹村眞一からの触れる地球・開発の歴史、プロジェクトの理念と背景、今後の展望の共有等。

結果、「海の地球ミュージアム 2018」にて、顧客満足の高いナビゲーションやミュージアム運営につながり、顧客アンケートでも一定の評価を得ています。

※日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として開催している旨を明示しました。



本プロジェクトは、日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として実施しています。

以上

3. 広報活動

以下の通り広報活動を展開しました。

【3-1）発信】

- ・「海の地球ミュージアム 2018」公式サイトを開設し、各ワークショップの内容を公開。催事を案内し、来場を呼び掛けました。
- ・オープン時、プレスリリースを社の報道機関・出版社に発信（共催の東京シティビューから）

【3-2）WEB 情報サイトへの掲載】

「海の地球ミュージアム 2018」開催期間中、各 WEB サイトのページビュー (PV) 数を定期的に集計しました。

- ・ NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) 公式サイト :

<http://www.elp.or.jp/>

- ・ Peatix (イベント参加者申込フォーマットとしても利用) :

<https://temuseum2018.peatix.com/view#>

- ・ Facebook ページ発信 :

https://www.facebook.com/tangibleearthmuseum/?hc_ref=ARQyMC3QC1yslYEU13QwbRzZrUNmFi0aljspTNxM9tTv8x0rgg0fTno_6J7iV1FbPMQ&fref=uf

- ・ 「海の地球ミュージアム 2018」公式サイト :

<http://tangible.earth/>

- ・ 六本木ヒルズ WEB サイトの「海の地球ミュージアム 2018」ページ :

<https://tcv.roppongihills.com/jp/exhibitions/earthmuseum2018/index.html>

3-2-1) 各WEBサイトPV数集計結果

・NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program)公式サイト：
集計開始日の 4/1～9/7 まで、PV 総数 12,667。

・Facebook ページ：
集計開始日の 4/1～9/7 まで、PV 総数 6,757。

・「海の地球ミュージアム 2018」公式サイト：
集計開始日の 4/1～9/7 まで、PV 総数 4,166。

・六本木ヒルズ WEB サイトの「海の地球ミュージアム 2018」ページ：
ページ公開日の 6/13～9/2 までの PV 総数 97,384。

・Peatix 「子ども地球教室」のイベントページ」：
ページ公開日の 6/13～9/2 までの PV 総数 4,116。

表-1. WEB サイトと SNS の PV 数実績と推移

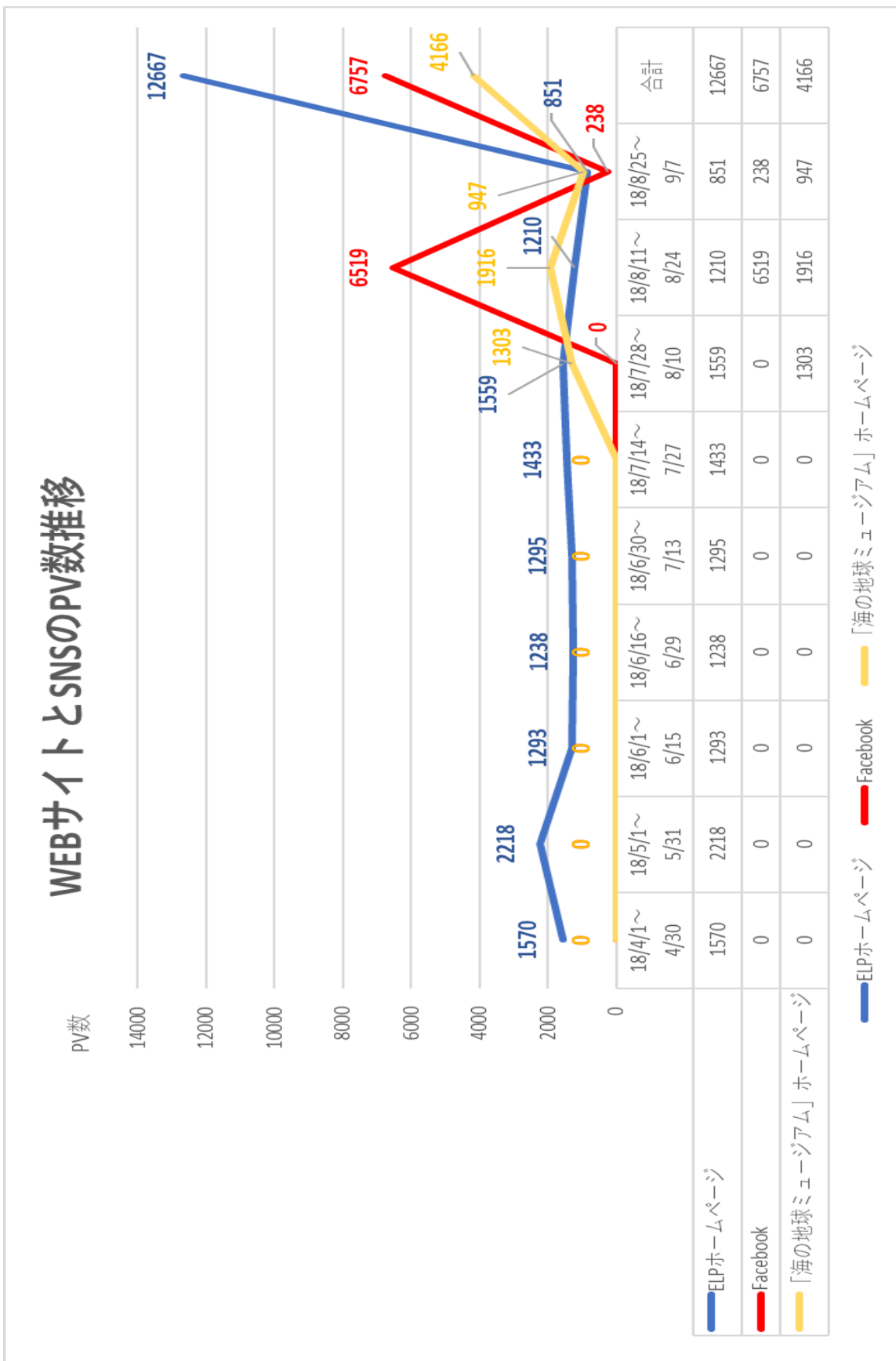
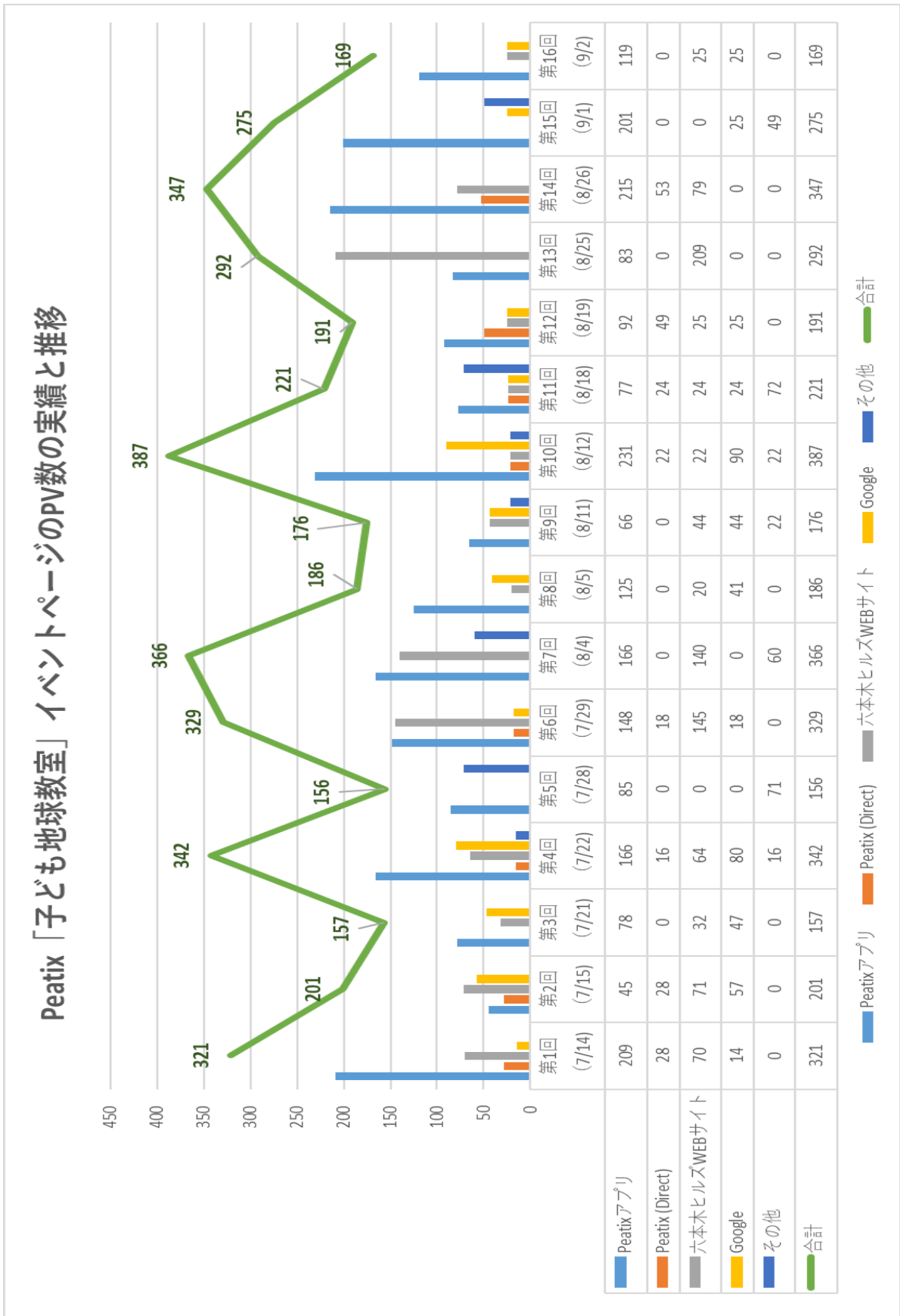


表-2. Peatix 「子ども地球教室」 イベントページのPV数の実績と推移



【3-3）メディア】

「海の地球ミュージアム 2018」開催初日となる7月13日（金）19:30より、プレスツアーを実施しました。当日は、デジタル地球儀「触れる地球」開発者 竹村真一により、「触れる地球」で見る全球視野（宇宙目線）での海と地球の過去・現在・未来のレクチャーや、大人から子どもまで学べる本展の概要説明を行いました。これまでのチャンネルも含め積極的に今回催事の情報を配布・配信し、結果以下のようなテレビ取材を得ました。

<テレビ放映>

・TOKYO MX NEWS

2018年8月31日（金） 20:56～ TOKYO MX NEWS内

なお、「海の地球ミュージアム 2018」を取り上げたリリースリストについては、関連資料 -3 「イベントリリース一覧」に示す通りです。

以上

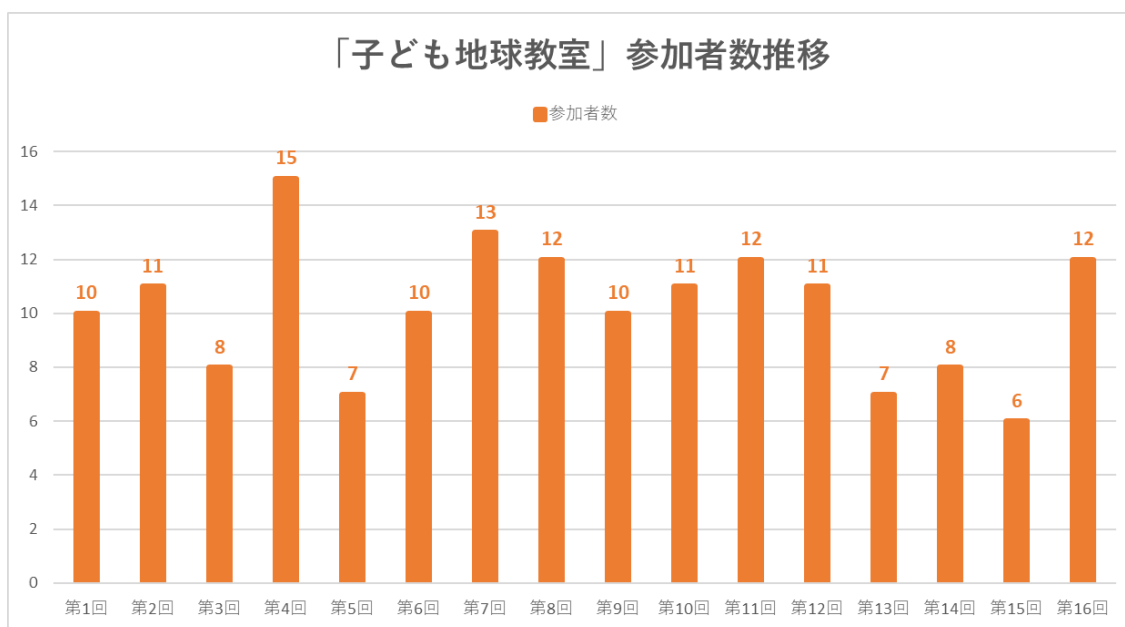
4. 来場者数実績と来場者からの評価

4-1) 来場者数実績

来場者累計は、約 120,000 名 (52 日間)。

毎日平均約 2,200 名 (2017 年度: 1,347 名) の来場者を受け入れたことになりました。この内、ワークショップ (子ども地球教室) 参加者総数は 163 名。

表-1 「子ども地球教室」参加者数推移



子ども地球教室	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
実施日	7/14	7/15	7/21	7/22	7/28	7/29	8/4
参加者数	10	11	8	15	7	10	13

第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	総計
8/5	8/11	8/12	8/18	8/19	8/25	8/26	9/1	9/2	-
12	10	11	12	11	7	8	6	12	163

4-2) 来場者のコメント (アンケートより抜粋)

- ・時間軸でシミュレーションや実際が見れてよかったです。
- ・台風は人々が困るだけだと思っていたけど、海を元気にさせることを知り、困るだけではないと思った。とても説明がわかりやすかった！
- ・地球との共存方法が理解できた。地球大紀行というマンガが大好きで、小さい頃から読んでいました。今日は理解が深まり良かったです。
- ・学校でも地球温暖化の勉強をしたけれど、また新しく知ったことがありました。色んな影響があるのでCO₂を減らしていこうと思いました。とっても楽しかったです。
- ・私たち地球人(人間)は少しでも二酸化炭素を減らし、再生可能エネルギーを増やす必要があると分かった。
- ・台風や黒潮のうずは悪いことばかりでなく、海をより豊かにしてくれ、それは人間にも良い影響を与えてくれるので、テレビで見ただけで、簡単に悪いと決めつけるのはまちがいだと感じました。
- ・地球のことを知ることは大切だと思います。
- ・本物の魚を真近でみることができ、新たな発見があったようでよかったです。
- ・とても感動しました。表面だけしか見てなかったことに気づきました。
- ・沖縄の海を守っているものが台風だったとは知らなかった。自然のバランスを保つことは重要なのです。
- ・学校では教えてくれない、地球とのつきあい方を教えていただけた。大きな広い観点で、学校でも教えてほしい。目先のことだけではない真の知識が得られる。
- ・学校で習った親潮、プランクトンなどの話の深いところの話がきけてよかったです。
- ・観点を変えることができた。一廃焼却施設に勤務してますが、いつも考える問題と共通している問題は私たちの選択。
- ・気象と海の役割について、理解を深める事ができ、大変興味がわきました。
- ・黒潮について、北極について知ることができてよかったです。子どもにも教えてあげたいと思いました。
- ・子供向けにこれから未来を生きていく地球についてわかりやすく説明してく

ださりよかった。

・人間が与える海への影響でウミガメが傷ついていることがよくわかり、改めて自分にできることを考えようと思いました。

・全地球的に様々な事象が見れて環境に対する理解が深まった。

・台風は悪いイメージしかありませんでしたが、大切な役割を任ていることを教えて頂きました。日本の地震の多さの理由、カツオ、マグロ、ザトウクジラの一生についてのお話もとても興味深かった。

・地球ベースでの話しが興味深く日本のこれからの設計をリセットするという所が心に残った。

・普段何となく地球や災害についてとらえていなかったが、話を聞いて参考になった。

以上

5. 運営のポイント

【5-1）健康】

- (1) 会場である東京シティビューは夏季、日光により室温が上昇するため、森ビル株式会社殿にてご協力を頂き、会期中の空調強化を実施し熱中症対策に努めました。
- (2) 同じく、熱中症対策の一環として、イベント開催時にはお客様にうちわを付与。
- (3) ナビゲーター・イベントスタッフに対しての健康管理面では、昼休憩時間以外に、1時間辺り15分の休憩シフトを設け、長時間勤務による疲労蓄積を回避しました。
- (4) ナビゲーター・イベントスタッフの休憩場所については、休憩可能なバックヤードを設置するとともに、森ビル株式会社殿にご用意いただいた社員食堂を活用しました。

【5-2）安全】

- (1) 森ビル株式会社殿が定めた緊急時の連絡体制・行動計画を運営マニュアルに盛り込み、開催時間中の緊急時に迅速な対応が執れる様、展示場現場管理者もしくは非番の時の代行責任者が常時会場に詰めることとしました。
- (2) 不特定多数の来場者に備え、朝礼・終礼にて情報共有や注意喚起をし、不測の事態に備えました。
- (3) 会場が段差の多い設計となったため、転倒事故防止のため注意喚起を行いました。
- (4) ミュージアム閉館後も東京シティビューは営業を続けていたため、森ビル株式会社殿にご協力いただき、閉館後はスタッフを配置し保安管理を行いました。

以上

6. 今後の課題

【会場設計】

3年目のミュージアムは森ビルの六本木ヒルズ展望台に場所を移しての開催となりました。事前の申請手続きや、会場設備の調整、搬入搬出作業において、森ビル株式会社殿のご協力の下、円滑に会場の完成から撤収までを行う体制が出来ました。一方で、新たな会場設計により段差が多い空間となったため、転倒事故が複数回発生しました。そのため会期中はナビゲーターと森ビル株式会社殿のご協力の下、注意喚起を徹底しました。来年度は会場設計の見直しとナビゲーターの再教育に注力してまいります。

【会場設備】

六本木ヒルズ展望台・東京シティビューは夏季、室温が上昇するため機器・水槽への悪影響が懸念されましたが、森ビル株式会社殿のご協力により空調を強化したため問題は発生しませんでした。一方で夕刻以降や悪天気の日には寒さを訴えるナビゲーターやお客様がいらっしゃいました。天候や人の多さで室温が大きく変化するため、状況を見極めながら適切に調整していきます。

【言語対応】

東京シティビューでの「海の地球ミュージアム 2018」は、過去に例を見ないほど外国人観光客が来訪しました。特に平日は日本人よりも来訪が多く、多言語対応の要望が多く寄せられました。デジタル地球儀の英語対応は万全でしたが、パンフレットは日本語のみで、ナビゲーターも全員が他言語に対応できるわけではありませんでした。インバウンドが増加することが予想されるため、対応をより一層強化してまいります。

以上

7. 収支報告

本催事の収支は、当会の一般年次会計から切り離し、案件ベースの特別会計の取り扱いとした。仔細は、「海の地球ミュージアム 2018 収支報告書」に示す通りである。

主要支出の概要は次の通りである。

① 展示デザイン及び造作関連費	15,100,000 円	(65.53%)
② 人件費	4,618,599 円	(20.04%)
③ 広報費	1,623,200 円	(7.04%)
④ 外注ソフト&サービス業務費	1,500,000 円	(6.51%)
⑤ 調査費	<u>200,000 円</u>	<u>(0.87%)</u>
	計 23,041,799 円	(100%)

以上

2018年12月10日

「海の地球ミュージアム2018」収支報告書

単位: 円

	収支内容	収入額	支出額	支出 %	収支バランス
【収入】					
	賛助金収入	19,200,000			
【支出】					
1	展示デザイン及び造作関連費				
	2-1) 【触れる地球ミュージアム全体】設計・施工費（撤去費含む）				
	・設計費		1,000,000		
	・施工、解体、搬出費用		8,000,000		
	・照明費用		1,000,000		
	2-2) 【水槽展示】展示制作費				
	・水槽提供、輸送設置費		2,000,000		
	・水槽運営管理、映像提供		1,000,000		
	2-3) 【プロジェクト・マッピング】制作費		750,000		
	2-4) 【ミュージアム内音響環境】音源提供・音環境調整費		900,000		
	2-5) その他の設備関連費用				
	・運搬費（搬入・搬出一式）		450,000		
	【展示デザイン・造作関連費合計】		15,100,000	78.7	
2	調査費				
	・耐震強度の査定、専門会社に委託		200,000		
	【調査費合計】		200,000	1.0	
3	広報関連費用				
	・プロモーションマテリアル制作費（リーフレット印刷費を含む）		980,000		
	・記録映像制作費用		600,000		
	・求人広告費用		43,200		
	【広報費合計】		1,623,200	8.5	
4	コンテンツ制作、プロジェクト管理等外注サービス業務				
	・展示企画・制作費（トークイベントの企画・司会含む）		1,500,000		
	【外注ソフト&サービス業務費合計】		1,500,000	7.8	
5	人件費				
	・ナビゲーター賃金及び通勤費用（研修手当含む）		4,618,599		
	【人件費合計】		4,618,599	24.1	
	総 計	19,200,000	23,041,799	120.0	-3,841,799

【関連資料】

	<u>ページ</u>
1. 「海の地球ミュージアム 2018」 展示マップ	43
2. 「海の地球ミュージアム 2018」 全体スケジュール	44
3. イベントリリース一覧	46
4. 子ども事前・事後アンケート	48
5. 大人事前・事後アンケート	52

海の地球ミュージアム2018
展示マップ

デジタル地球儀

デジタル地球儀「触れる地球」5台「SPHERE」3台で、地球の今と面白さを知り、海の地球を知る

プロジェクションマッピング

最新のプロジェクション・マッピング技術により、まるで海の底にいるかのような感覚を味わえる

水槽

黒潮が育んだカラフルな魚の世界が出現、地球の母なる海の不思議を体感して学ぶ

入口

【関連資料 - 2】全体スケジュール

六本木ヒルズ展望台・海の地球ミュージアム2018 スケジュール

最終更新: 2018年7月10日

月日	全体	イベント	備考
7 9 Mon	施工		
7 10 Tue	施工(水槽搬入)		
7 11 Wed	施工(地球儀搬入)		
7 12 Thu	精密機器搬入(地球儀・映像機器等) 映像・展示設営		
7 13 Fri	オープン	19:30～ プレスツアー	
7 14 Sat		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室	
7 15 Sun		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室 “竹村真一(「触れる地球」開発者、海と地球ミュージアム主宰) “新たな「海」の発見——「触れる地球」で見る、宇宙のなかの“水球”の魅力”	
7 16 Mon	「海の日」		
7 17 Tue			
7 18 Wed			
7 19 Thu			
7 20 Fri			
7 21 Sat		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室	
7 22 Sun		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室 “沖縄美ら海水族館 副館長;佐藤圭一氏(サメ博士) “生きものの常識が変わる!?——見えてきた魚たちの複雑な生きざま”	
7 23 Mon			
7 24 Tue			
7 25 Wed			
7 26 Thu			
7 27 Fri			
7 28 Sat		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室	
7 29 Sun		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室 “沖縄美ら海水族館 魚類チーム リーダー;河津勲氏(ウミガメ博士) “海と生きものを守るために、いま大切なこと”	
7 30 Mon			
7 31 Tue			
8 1 Wed			
8 2 Thu			
8 3 Fri			
8 4 Sat		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室	
8 5 Sun		11:00～11:45 【WS】子ども地球教室	
8 6 Mon			
8 7 Tue			
8 8 Wed			
8 9 Thu			

8	10	Fri			
8	11	Sat		11:00～11:45【WS】子ども地球教室	
8	12	Sun		11:00～11:45【WS】子ども地球教室 “オーシャンスパイラル 代表取締役;米澤徹哉氏(海中バルーン開発) “地球最後のフロンティア——海中生活が当たり前になる未来””	
8	13	Mon			
8	14	Tue			
8	15	Wed			
8	16	Thu			
8	17	Fri			
8	18	Sat		11:00～11:45【WS】子ども地球教室	
8	19	Sun		11:00～11:45【WS】子ども地球教室 “沖縄美ら島財団 総合研究センター 統括;野中正法氏(サンゴ博士) “知っていますか?——サンゴやサンゴ礁の知られざる事実””	
8	20	Mon			
8	21	Tue			
8	22	Wed		19:00～20:45【特別プログラム】ナショナルジオグラフィックとのコラボ企画「地球のふしぎトークイベント」-番組上映会付き	
8	23	Thu			
8	24	Fri			
8	25	Sat		11:00～11:45【WS】子ども地球教室 “気象予報士・喜田勝氏(お天気博士、TV朝日「報道ステーション」お天気キャスター) “地球目線で考える、海とお天気の関わり——台風、黒潮、北極、エルニーニョ””	
8	26	Sun		11:00～11:45【WS】子ども地球教室 “今村文彦氏(地震・津波博士、東北大学・災害科学国際研究所長、津波工学) “次の津波災害に備える””	
8	27	Mon			
8	28	Tue			
8	29	Wed			
8	30	Thu			
8	31	Fri			
9	1	Sat		11:00～11:45【WS】子ども地球教室	
9	2	Sun	会期終了	11:00～11:45【WS】子ども地球教室	
9	3	Mon	～朝 撤収		

会期：2018.7.13（金）～ 9.2（日）
開館時間：10:00～22:00（最終入場 21:30）※休館日なし

NPO法人ELP
「海の地球ミュージアム2018」

【関連資料 - 3】 イベントリリース一覧

日付	媒体名	タイトル	備考/URL
2018/6/5	JB PRESS	【六本木ヒルズ】開業15周年を迎えた六本木ヒルズで暑い夏が始まる！	http://www.jpubb.com/press/1745763/
2018/6/6	KENCHIKU	ユニヴァーサル・プリンシパルズ: 環境的課題をリセットするオーストラリア建築の試み	http://kenchiku.co.jp/event/evt20180606-1.html
2018/6/6	キッズイベント	2018年7月14日(土)～8月26日(日)まで六本木ヒルズで開催！テレビ朝日・六本木ヒルズ 夏祭り SUMMER STATION 2018	http://www.kids-event.jp/event/10693/
2018/6/6	Holiday	六本木の夜空に海の生き物たちが登場！「海の地球ミュージアム 2018」開催	https://haveagood.holiday/events/1720
2018/6/8	もしもしっぽん	六本木ヒルズ、2018夏のイベントを多数開催！ほぼ等身大ドラえもんが登場	https://www.moshimoshi-nippon.jp/ja/111635
2018/6/11	TOKYO DAY OUT	盆踊りからグルメバーガーグランプリまで！開業15周年【六本木ヒルズ】2018夏イベント	https://dayout.tokyobookmark.net/2018-0611-1/
2018/6/11	マイナビニュース	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://news.mynavi.jp/article/20180611-643815/
2018/6/11	ニコニコニュース	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	http://news.nicovideo.jp/watch/nw3583468
2018/6/11	Mapiion	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://www.mapiion.co.jp/news/local/cobs/1775548-1/
2018/6/11	gooニュース	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://news.goo.ne.jp/article/mycom/trend/mycom_1775548.html
2018/6/11	excite.ニュース	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://www.excite.co.jp/News/it_e/20180611/Cobs_1775548.html
2018/6/11	Rakuten Infoseek News	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://news.infoseek.co.jp/article/mynavi_1775548/
2018/6/11	BIGLOBEニュース	六本木ヒルズで夏祭り！盆踊りやバーガーグランプリ、等身大ドラえもんも	https://news.biglobe.ne.jp/trend/0611/mnn_180611_6634708344.html
2018/6/13	amuzen	東京シテイビューで、夏の空を体感	https://jp.amu-zen.com/roppongi-hills-tokyo-city-view-summer-events-2018/
2018/6/14	リセマム	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://resomom.jp/article/2018/06/14/45111.html
2018/6/14	NEWSPICKS	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://newspicks.com/news/3101437?ref=user_2246
2018/6/14	Infoseek News	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://news.infoseek.co.jp/article/resomom_45111/
2018/6/14	livedoor NEWS	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	http://news.livedoor.com/article/detail/14865510/
2018/6/14	Amebaニュース	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://news.ameba.jp/entry/20180614-949
2018/6/14	情報イベント総合サイト ことさが	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	http://cotosaga.com/event_news_detail/21789/
2018/6/14	NEWS CAFE	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://www.newscafe.ne.jp/article/2018/06/14/2212909.html
2018/6/14	BIGLOBEニュース	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://news.biglobe.ne.jp/trend/0614/res_180614_8175221986.html
2018/6/14	FASHION PRESS	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://www.fashion-press.net/news/40570
2018/6/14	Peachy	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	http://news.livedoor.com/article/detail/14865819/
2018/6/14	BIO IMPACT	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://bioimpact.jp/news/detail/548480
2018/6/14	dmenuニュース	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/fashionpress/life/fashionpress-40570
2018/6/14	gooニュース	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://news.goo.ne.jp/article/fashionpress/life/fashionpress-40570.html
2018/6/15	Yahoo!BEAUTY	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://beauty.yahoo.co.jp/lifestyle/articles/1005871
2018/6/14	Woman.excite.	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://woman.excite.co.jp/article/lifestyle/rid_Fashionpress_40570/
2018/6/14	TRILL	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://trilltrill.jp/articles/1005871
2018/6/14	学協くん.com	【夏休み2018】六本木ヒルズ展望台に「触れる地球」登場、ワークショップも	https://www.gakkyo-kun.com/resomom/?id=45111&rss=0
2018/6/14	LINE NEWS	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	http://news.line.me/articles/oa-rp45312/b03464cdd9a6
2018/6/14	antenna	六本木ヒルズ展望台の夏イベント、世界初のデジタル地球儀&海のプロジェクト映像を夜景とともに	https://antenna.jp/articles/6726927
2018/6/15	Let's ENJOY TOKYO	浴衣や着平が入浴できる限定で「スカイデッキ」の入場料が無料に！そして、期間限定で営業時間を22:00まで延長!!	https://www.enjoytokyo.jp/amuse/event/882571/
2018/6/15	ON VISITING	ユニヴァーサル・プリンシパルズ: 環境的課題をリセットするオーストラリア建築の試み	http://www.onvisiting.com/2018/06/15/roppongi-20180707/
2018/6/18	Holiday	オーストラリアの環境における建築の試みを見られる「オーストラリアの建築展」が六本木で開催！	https://haveagood.holiday/events/1887
2018/6/18	リセマム	2018年夏休み情報おまとめ便<2018/6/11-17掲載>	https://resomom.jp/article/2018/06/18/45140.html
2018/6/18	livedoor NEWS	2018年夏休み情報おまとめ便<2018/6/11-17掲載>	http://news.livedoor.com/article/detail/14880568/
2018/6/18	Infoseek News	2018年夏休み情報おまとめ便<2018/6/11-17掲載>	https://news.infoseek.co.jp/article/resomom_45140/
2018/6/18	NEWS CAFE	2018年夏休み情報おまとめ便<2018/6/11-17掲載>	https://www.newscafe.ne.jp/article/2018/06/18/2214311_4.html
2018/6/18	Amebaニュース	2018年夏休み情報おまとめ便<2018/6/11-17掲載>	https://news.ameba.jp/entry/20180618-267
2018/6/22	キッズイベント	海の地球ミュージアム 2018	http://www.kids-event.jp/event/10707/
2018/6/22	Let's ENJOY TOKYO	浴衣DE 無料！スカイデッキ	https://www.enjoytokyo.jp/amuse/event/882571/
2018/6/22	Let's ENJOY TOKYO	六本木天文クラブ 星空観望会	https://www.enjoytokyo.jp/amuse/event/845482/
2018/6/28	キッズ動画チャンネル	わくわくドキドキ宇宙工作～地球と月のメジャーを作ろう！	
2018/6/28	キッズイベント	参加者募集！六本木天文クラブ presents わくわくドキドキ星空観望 天体望遠鏡をつくらう！	http://www.kids-event.jp/event/10711/
2018/6/28	キッズイベント	参加者募集！六本木天文クラブ presents わくわくドキドキ宇宙工作～地球と月のメジャーを作ろう！	http://www.kids-event.jp/event/10712/
2018/6/30	キッズ動画チャンネル	わくわくドキドキ星空観望 天体望遠鏡をつくらう！	
2018/7/2	リセマム	2018年夏休みの教育イベント・ワークショップ・観光情報<6月掲載分まとめ>	https://resomom.jp/article/2018/07/02/45416.html
2018/7/9	Let's ENJOY TOKYO	今日から一週間開催 東京のアミューズメント&レジャー イベント情報	https://www.enjoytokyo.jp/amuse/event/845482/
2018/7/10	Let's ENJOY TOKYO	7月16日(月・祝)の祭り・夏休みのイベント	https://www.enjoytokyo.jp/feature/matsuri/summer/fes/07_5.html
2018/7/10	FASHION PRESS	夏休み2018、旅行&帰省に役立つ全国イベント特集 - 水族館や花火、美術館まで	https://www.fashion-press.net/news/41255
2018/7/10	ツアージャーナル!	夏休み2018、旅行&帰省に役立つ全国イベント特集 - 水族館や花火、美術館まで-Fashion Press	http://www.tour-journal.com/%E3%81%9D%E3%81%AF%E4%BB%96/127783.html
2018/7/10	はてなブックマーク	夏休み2018、旅行&帰省に役立つ全国イベント特集 - 水族館や花火、美術館まで-ファッションプレス	http://b.hatena.ne.jp/entry/s/www.fashion-press.net/news/41255
2018/7/10	Scoopnest	夏休み2018、旅行&帰省に役立つ全国イベント特集 - 水族館や花火、美術館まで-ファッションプレス	https://www.scoopnest.com/ja/user/fashionpressnet/1018872925192011782-2018amp-
2018/7/12	六本木経済新聞	六本木ヒルズで恒例の夏休み企画 人気番組と連動したアトラクション企画も	https://roppongi.keizai.biz/headline/4094/
2018/7/12	dmenuニュース	六本木ヒルズで恒例の夏休み企画 人気番組と連動したアトラクション企画も	https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/minkei/region/minkei-roppongi4094
2018/7/12	gooニュース	六本木ヒルズで恒例の夏休み企画 人気番組と連動したアトラクション企画も	https://news.goo.ne.jp/article/minkei/region/minkei-roppongi4094.html
2018/7/12	緑のgoo	六本木ヒルズで恒例の夏休み企画 人気番組と連動したアトラクション企画も	https://www.goo.ne.jp/green/column/minkei/roppongi4094.html
2018/7/12	Yahoo!ニュース	六本木ヒルズで恒例の夏休み企画 人気番組と連動したアトラクション企画も	https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180712-00000065-minkei-113
2018/7/13	isuta	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://isuta.jp/595974
2018/7/13	Peachy	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	http://news.livedoor.com/article/detail/15006675/
2018/7/13	はてなブックマーク	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	http://b.hatena.ne.jp/entry/s/isuta.jp/595974
2018/7/13	TRILL	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://trilltrill.jp/articles/1018536
2018/7/13	ツイナビ	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://twinavi.jp/topics/lifestyle/5b482a55-0a44-4a11-8ebd-7af25546ec81
2018/7/13	excite.ニュース	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://www.excite.co.jp/News/woman.clm/20180713/Iphone_girl_595974.html
2018/7/13	グノシー	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://gunosy.com/articles/Rw7B
2018/7/13	GENIC	今週末のおすすめ東京イベント10選(7月14日～7月16日)	https://atgirl.com/news/422926

2018/7/13	MdN Design Interactive	人気のデジタル地球儀も触れる体験型の展覧会「海の地球ミュージアム2018」	https://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/59907/
2018/7/13	グノシー	人気のデジタル地球儀も触れる体験型の展覧会「海の地球ミュージアム2018」	https://gunosy.com/articles/a0uOR
2018/7/13	livedoorNEWS	人気のデジタル地球儀も触れる体験型の展覧会「海の地球ミュージアム2018」	http://news.livedoor.com/article/detail/15007150/
2018/7/13	BIO IMPACT	人気のデジタル地球儀も触れる体験型の展覧会「海の地球ミュージアム2018」	https://bioimpact.jp/news/detail/551749
2018/7/13	Amebaニュース	人気のデジタル地球儀も触れる体験型の展覧会「海の地球ミュージアム2018」	https://news.ameba.jp/image/20180713-585
2018/7/13	JJJI.COM	触れる地球	https://www.jiji.com/jc/p?id=20180713214122-0027676584
2018/7/13	yahoo!ニュース	触れる地球	https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180713-00010004-jiiv-soci
2018/7/13	BIGLOBEニュース	触れる地球	https://news.biglobe.ne.jp/domestic/0713/jip_180713_0499380202.html
2018/7/13	nippon.com	【動画】触れる地球＝東京・六本木ヒルズ展望台	https://www.nippon.com/ja/news/p00300/#cxrcs_s
2018/7/13	JJJI.COM	海の地球ミュージアム	https://www.jiji.com/jc/movie?p=j001067
2018/7/13	yahoo!ニュース	海の地球ミュージアム	https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180713-00000089-jiip-soci.view-000
2018/7/13	TOKYO ART BEAT	「海の地球ミュージアム2018」	http://www.tokyoartbeat.com/event/2018/B32A
2018/7/13	Australia Now	オーストラリアの気鋭の建築家による展覧会が六本木ヒルズの展望台で開幕しました！	https://australianow2018.com/news/20180713-34
2018/7/15	日刊建設通信新聞	【豪州建築と環境】六本木ヒルズで在日豪大使館が建築展 日豪3大学が模型など制作 8/26まで	https://www.kansetsunews.com/web-kan/214746
2018/7/15	TOKYO HEADLINE	まるで海の中から東京の絶景を眺めているみたい！／7月15日（日）の東京イベント	http://www.tokyoheadline.com/414191/
2018/7/17	All About	夏休みの子供向け体験イベント2018！自由研究にも	https://allabout.co.jp/gm/go/475510/
2018/7/16	TOKYO DATE-NAVI	六本木ヒルズ展望台に「海の地球ミュージアム」が登場	http://www.date-navi.com/future/20180710/index.html
2018/7/18	Holiday	夏のおでかけが10倍楽しくなる！夏を感じられる都内のイベント10選	https://haveagood.holiday/articles/177
2018/7/19	六本木経済新聞	六本木ヒルズで「海と地球のミュージアム」 世界初のデジタル地球儀を展示	https://roppongi.keizai.biz/headline/4098/
2018/7/19	dmenuニュース	六本木ヒルズで「海と地球のミュージアム」 世界初のデジタル地球儀を展示	https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/minkei/region/minkei-roppongi4098
2018/7/19	gooニュース	六本木ヒルズで「海と地球のミュージアム」 世界初のデジタル地球儀を展示	https://news.goo.ne.jp/article/minkei/region/minkei-roppongi4098.html
2018/7/19	緑のgoo	六本木ヒルズで「海と地球のミュージアム」 世界初のデジタル地球儀を展示	https://www.goo.ne.jp/green/column/minkei_roppongi4098.html
2018/7/19	Yahoo!ニュース	六本木ヒルズで「海と地球のミュージアム」 世界初のデジタル地球儀を展示 /東京	https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180719-00000028-minkei-113
2018/7/19	六本木経済新聞	世界初というデジタル式の地球儀「触れる地球」を展示	https://roppongi.keizai.biz/photoflash/2079/

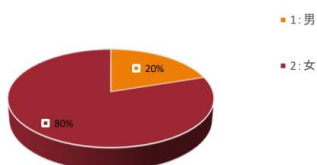
【関連資料 - 4】子ども事前・事後アンケート

海の地球ミュージアム2018

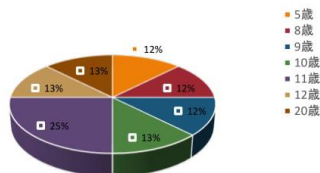
実施日（2018/7/13-9/2）

子ども事前アンケート回収数：0106

Q1：性別

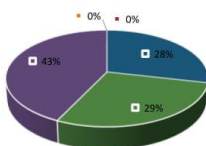


Q2：参加時の年齢

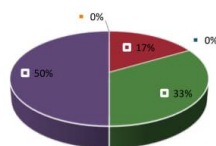


Q4：海について、あなたにあてはまるものを選んでください

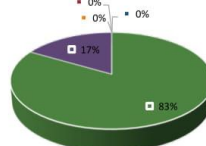
①海が好きだ



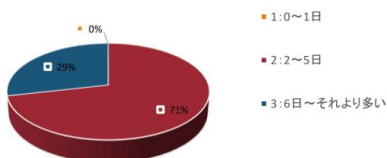
②海に親しみを感ずる



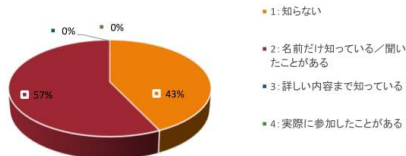
③海について興味や関心がある



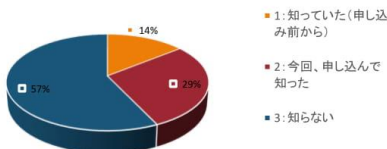
Q5：この一年であなたは何日くらい、海に行きましたか。
海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、
海を見に行く、だけでも入れて下さい。



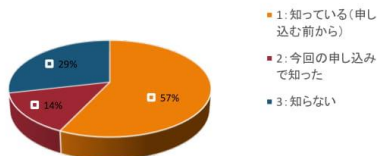
Q6：「海と日本PROJECT」があります。
海で進んでいる「環境の悪化」などの現状
（今、どうなっているのか）をひとりひとりが
「自分ごと（自分に関係があること）」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐ、行動の輪を広げていく
プロジェクトです。このプロジェクトについて、
あなたにあてはまるものを選んでください。



Q7：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。
あてはまるものを選んでください。



Q8：日本財団について、あてはまるものを選んでください。



海の地球ミュージアム2018

実施日（2018/7/13-9/2）

子ども事前アンケート回収数：0106

Q1：性別

1：男	2
2：女	8
回答なし	96

Q2：参加時の年齢

5歳	1
8歳	1
9歳	1
10歳	1
11歳	2
12歳	1
20歳	1
回答なし	98

Q3：お住まい

埼玉県	1
神奈川県	1
東京都	5
回答なし	99

Q4：海について、あなたにあてはまるものを選んでください

①海が好きだ

1：全くあてはまらない	0
2：あまりあてはまらない	0
3：どちらともいえない	2
4：少しあてはまる	2
5：非常に良くあてはまる	3
回答なし	99

②海に親しみを感ずる

1：全くあてはまらない	0
2：あまりあてはまらない	1
3：どちらともいえない	0
4：少しあてはまる	2
5：非常に良くあてはまる	3
回答なし	100

③海について興味や関心がある（もっと知りたい）

1：全くあてはまらない	0
2：あまりあてはまらない	0
3：どちらともいえない	0
4：少しあてはまる	5
5：非常に良くあてはまる	1
回答なし	100

Q5：この一年であなたは何日くらい、海に行きましたか。海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、海を見に行く、だけでも入れて下さい。

1：0～1日	0
2：2～5日	5
3：6日～それより多い	2
回答なし	99

Q6：「海と日本PROJECT」があります。

海で進んでいる「環境の悪化」などの現状（今、どうなっているのか）をひとりひとりが「自分ごと（自分に関係があること）」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐ、行動の輪を広げていくプロジェクトです。このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

1：知らない	3
2：名前だけ知っている／聞いたことがある	4
3：詳しい内容まで知っている	0
4：実際に参加したことがある	0
回答なし	99

Q7：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。

あてはまるものを選んでください。

1：知っていた（申し込み前から）	1
2：今回、申し込んで知った	2
3：知らない	4
回答なし	99

Q8：日本財団について、あてはまるものを選んでください。

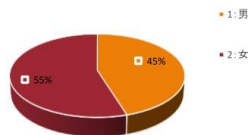
1：知っている（申し込む前から）	4
2：今回の申し込みで知った	1
3：知らない	2
回答なし	99

海の地球ミュージアム2018

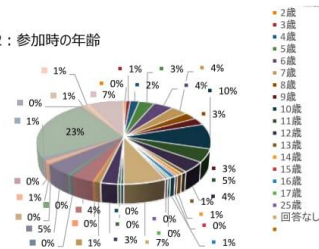
実施日（2018/7/13-9/2）

子ども事後アンケート回収数：0108

Q1：性別

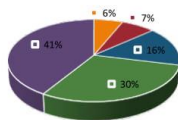


Q2：参加時の年齢

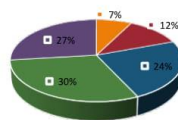


Q4：海について、あなたにあてはまるものを選んでください

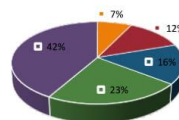
①海が好きだ



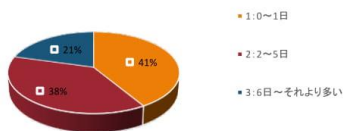
②海に親しみを感ずる



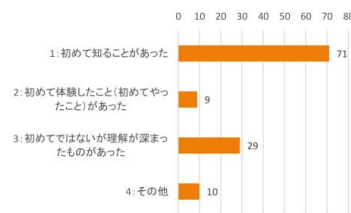
③海について興味や関心がある



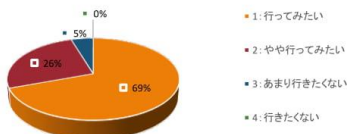
Q5：この一年であなたは何日くらい、海に行きましたか。
海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、
海を見に行く、だけでも入れて下さい。



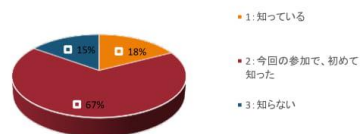
Q6：今日のことについて、あてはまるものを選んでください（いくつでも）



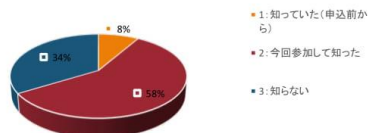
Q9：海にまた行くこと、行ってみたいことについて、
あなたにあてはまるものを選んでください



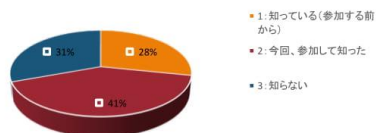
Q10：今回のイベントは「海と日本PROJECT」です。
海で進んでいる「環境の悪化」などの現状（今、どうなっているのか）を
ひとりひとりが「自分ごと（自分に関係があること）」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐ、行動の輪を広げていくプロジェクトです。
このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。



Q11：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。
あてはまるものを選んでください。



Q12：日本財団について、あてはまるものを選んでください。



海の地球ミュージアム2018

実施日（2018/7/13-9/2）

子ども事後アンケート回収数：0108

Q1：性別

1：男	47
2：女	57
回答なし	4

Q2：参加時の年齢

2歳	1
3歳	2
4歳	4
5歳	7
6歳	9
7歳	8
8歳	6
9歳	6
10歳	21
11歳	11
12歳	9
13歳	2
14歳	2
15歳	1
16歳	2
17歳	1
25歳	1
回答なし	15

Q3：お住まい

■（判読不能）	1
イタリヤ	1
茨城県	6
宮崎県	2
群馬県	1
埼玉県	8
滋賀県	1
秋田県	1
神奈川県	10
石川県	1
千葉県	2
中国	1
長野県	2
東京都	50
奈良県	1
福井県	2
福岡県	2
回答なし	16

Q4：海について、あなたにあてはまるものを選んでください

①海が好きだ

1：全くあてはまらない	6
2：あまりあてはまらない	7
3：どちらともいえない	15
4：少しあてはまる	29
5：非常に良くあてはまる	40
回答なし	11

②海に親しみを感ずる

1：全くあてはまらない	7
2：あまりあてはまらない	11
3：どちらともいえない	22
4：少しあてはまる	28
5：非常に良くあてはまる	25
回答なし	15

③海について興味や関心がある（もっと知りたい）

1：全くあてはまらない	7
2：あまりあてはまらない	12
3：どちらともいえない	15
4：少しあてはまる	22
5：非常に良くあてはまる	40
回答なし	12

Q5：この一年であなたは何日くらい、海に行きましたか

海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、海を見に行く、だけでも入れて下さい。	
1：0～1日	38
2：2～5日	35
3：6日～それより多い	19
回答なし	16

Q6：今日のことについて、あてはまるものを選んでください（いくつでも）

1：初めて知ることがあった	71
2：初めて体験したこと（初めてやったこと）があった	9
3：初めてではないが理解が深まったものがあった（良く知ることができたものがあった）	29
4：その他	10
回答なし	19

Q7：今日の体験（やったこと）でできて良かった、知って良かったことがあれば教えてください。書ける人は、それはどうしてかをお願いします（FA）

FA 詳細別シート	53
回答なし	55

Q8：今日の体験（やったこと）をしてみて、気がついたこと、思ったこと、驚いたこと、毎日の生活で役立つことなどあれば、何でも、自由に書いてください（FA）

FA 詳細別シート	44
回答なし	64

Q9：海にまた行くこと、行ってみることに、あなたにあてはまるものを選んでください

1：行ってみたい	59
2：やや行ってみたい	22
3：あまり行きたくない	4
4：行きたくない	0
回答なし	23

Q10：今回のイベントは「海と日本PROJECT」です。海で進んでいる「環境の悪化」などの現状（今、どうなっているのか）をひとりひとりが「自分ごと（自分に関係があること）」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐ、行動の輪を広げていくプロジェクトです。このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

1：知っている	15
2：今回の参加で、初めて知った	58
3：知らない	13
回答なし	22

Q11：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。あてはまるものを選んでください。

1：知っている（申込前から）	7
2：今回参加して知った	48
3：知らない	28
回答なし	25

Q12：日本財団について、あてはまるものを選んでください。

1：知っている（参加する前から）	24
2：今回、参加して知った	35
3：知らない	26
回答なし	23

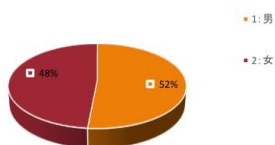
【関連資料 - 5】大人事前・事後アンケート

海の地球ミュージアム2018

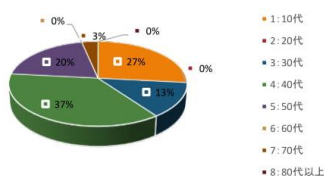
実施日（2018/7/13-9/2）

大人事前アンケート回収数：0155

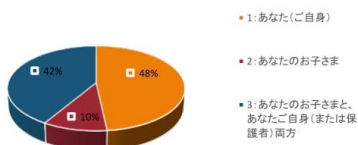
Q1：性別



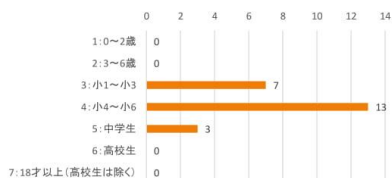
Q2：参加時の年代



Q3：今回、実際のイベントに参加されるのは誰ですか

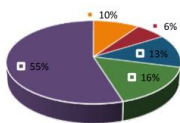


Q4：参加されるお子さまの年齢にあてはまるものをお選びください(いくつでも)

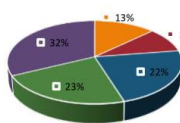


Q6：海について、ご自身にあてはまるものをお選びください

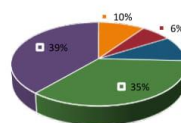
①海が好きだ



②海に親しみをを感じる

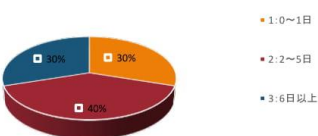


③海について興味や関心がある



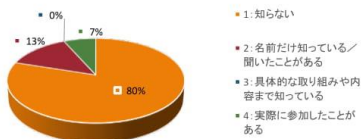
Q7：この一年で何日くらい、海を訪れましたか。

(海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、単に海を見る、見に行くも含みます。)



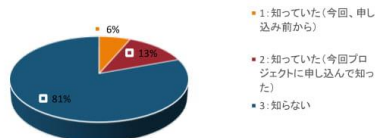
Q8：「海と日本PROJECT」というプロジェクトがあります。

海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ、ひとりが「自分ごと」として捉え、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目的としたプロジェクトです。このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

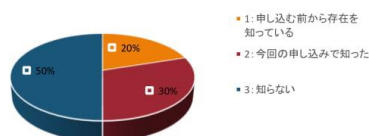


Q9：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。

この点について、ご自身にあてはまるものをお選びください。



Q10：日本財団について、ご自身にあてはまるものをお選びください。



海の地球ミュージアム2018

実施日（2018/7/13-9/2）

大人事前アンケート回収数：0155

Q1：性別

1：男	17
2：女	16
回答なし	122

Q2：参加時の年代

1：10代	8
2：20代	0
3：30代	4
4：40代	11
5：50代	6
6：60代	0
7：70代	1
8：80代以上	0
回答なし	125

Q3：今回、実際のイベントに参加されるのは誰ですか

1：あなた（ご自身）	14
2：あなたのお子さま	3
3：あなたのお子さまと、あなたご自身（または保護者）両方	12
回答なし	126

Q4：Q3で2、3とお答えの方へ質問です。

参加されるお子さまの年齢にあてはまるものをお選びください（いくつでも）

1：0～2歳	0
2：3～6歳	0
3：小1～小3	7
4：小4～小6	13
5：中学生	3
6：高校生	0
7：18才以上（高校生は除く）	0
回答なし	134

Q5：お住まい

埼玉県	3
大阪府	1
東京都	23
回答なし	128

Q6：海について、ご自身にあてはまるものをお選びください

①海が好きだ

1：全く当てはまらない	3
2：あまり当てはまらない	2
3：どちらともいえない	4
4：少し当てはまる	5
5：非常に良く当てはまる	17
回答なし	124

②海に親しみを感じる

1：全く当てはまらない	4
2：あまり当てはまらない	3
3：どちらともいえない	7
4：少し当てはまる	7
5：非常に良く当てはまる	10
回答なし	124

③海について興味や関心がある

1：全く当てはまらない	3
2：あまり当てはまらない	2
3：どちらともいえない	3
4：少し当てはまる	11
5：非常に良く当てはまる	12
回答なし	124

Q7：この一年で何日くらい、海を訪れましたか。

（海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、単に海を見る、見に行くも含みます。）

※1泊2日で海に遊びに行った場合は2日でカウントします。

1：0～1日	9
2：2～5日	12
3：6日以上	9
回答なし	125

Q8：「海と日本PROJECT」というプロジェクトがあります。

海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ、ひとり一人が「自分ごと」として捉え、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目的としたプロジェクトです。

このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

1：知らない	24
2：名前だけ知っている／聞いたことがある	4
3：具体的な取り組みや内容まで知っている	0
4：実際に参加したことがある	2
回答なし	125

Q9：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。

この点について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

1：知っていた（今回、申し込み前から）	2
2：知っていた（今回プロジェクトに申し込んで知った）	4
3：知らない	25
回答なし	124

Q10：日本財団について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

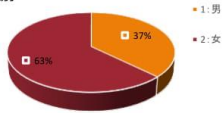
1：申し込み前から存在を知っている	6
2：今回の申し込みで知った	9
3：知らない	15
回答なし	125

海の地球ミュージアム2018

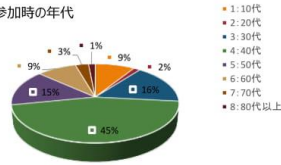
実施日（2018/7/13-9/2）

大人事後アンケート回収数：0156

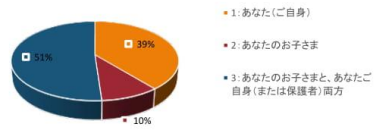
Q1：性別



Q2：参加時の年代



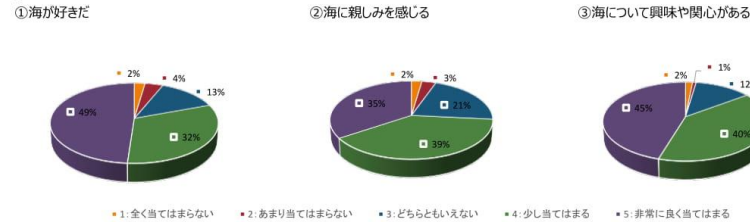
Q3：今回、実際のイベントに参加した方は誰ですか



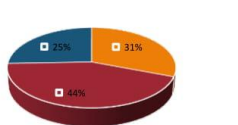
Q4：参加されるお子さまの年齢にあてはまるものをお選びください (いくつでも)



Q6：海について、ご自身にあてはまるものをお選びください



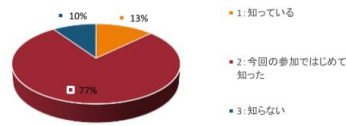
Q7：この一年で何日くらい、海を訪れましたか (海水浴や、潮干狩り、釣りだけでなく、単に海を見る、見に行くも含みます。)



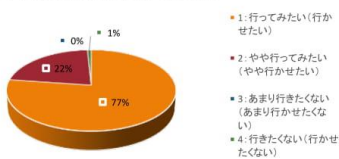
Q8：今日の体験でご自身にあてはまるものをお選びください (いくつでも)



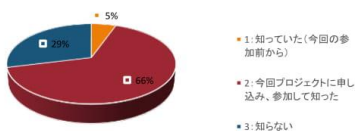
Q12：今回のイベントは「海と日本PROJECT」です。海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ、ひとりひとりが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目的としたプロジェクトです。このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。



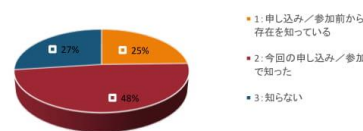
Q11：海にまた行くこと、行ってみたいことについて、ご自身にあてはまるものをお選びください。



Q13：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。この点について、ご自身にあてはまるものをお選びください。



Q14：日本財団について、ご自身にあてはまるものをお選びください。



海の地球ミュージアム2018

実施日（2018/7/13-9/2）

大人事後アンケート回収数：0156

Q1：性別

1：男	50
2：女	84
回答なし	22

Q2：参加時の年代

1：10代	12
2：20代	2
3：30代	22
4：40代	61
5：50代	20
6：60代	12
7：70代	4
8：80代以上	2
回答なし	21

Q3：今回、実際のイベントに参加した方は誰ですか

1：あなた（ご自身）	52
2：あなたのお子さま	13
3：あなたのお子さまと、あなたご自身（または保護者）両方	68
回答なし	23

Q4：Q3で2、3とお答えの方へ質問です。

参加されるお子さまの年齢にあてはまるものをお選びください（いくつでも）

1：0～2歳	1
2：3～6歳	16
3：小1～小3	26
4：小4～小6	55
5：中学生	12
6：高校生	4
7：18才以上（高校生は除く）	4
回答なし	66

Q5：お住まい

茨城県	5
宮城県	1
熊本県	1
広島県	2
香川県	1
高知県	1
埼玉県	6
山梨県	1
新潟県	2
神奈川県	10
静岡県	1
石川県	3
千葉県	5
中国	3
東京都	67
奈良県	2
福岡県	1
兵庫県	2
北海道	1
回答なし	41

Q6：海について、ご自身にあてはまるものをお選びください

①海が好きだ

1：全く当てはまらない	3
2：あまり当てはまらない	5
3：どちらともいえない	17
4：少し当てはまる	41
5：非常に良く当てはまる	63
回答なし	27

②海に親しみを感ずる

1：全く当てはまらない	3
2：あまり当てはまらない	4
3：どちらともいえない	27
4：少し当てはまる	50
5：非常に良く当てはまる	44
回答なし	28

③海について興味や関心がある

1：全く当てはまらない	2
2：あまり当てはまらない	1
3：どちらともいえない	16
4：少し当てはまる	51
5：非常に良く当てはまる	58
回答なし	28

Q7：この一年で何日くらい、海を訪れましたか

（海水浴や、潮干狩り、釣りなどだけでなく、単に海を見る、見に行きも含みます。）
※1泊2日で海に遊びに行った場合は2日でカウントします。

1：0～1日	41
2：2～5日	58
3：6日以上	34
回答なし	23

Q8：今日の体験でご自身にあてはまるものをお選びください（いくつでも）

※お子さまだけ参加された場合は、お子さまとお話をした後、お子さまと話をしてみてもお選びください。

1：初めて知ることがあった	78
2：初めて体験したことがあった	16
3：初めてではないけど、理解が深まったものがあった	44
4：その他（具体的に）	1
回答なし	35

Q9：今日の体験で、できてよかった、知ってよかったと思うことがあれば

教えてください。その理由もお願いします。
※お子さまだけ参加された場合は、お子さまとお話をした後、お子さまができて良かったことをお書きください。
できましたらその理由もお願いします。

FA 詳細別シート	80
回答なし	76

Q10：今日の体験を通じて、気がついたことや、思ったこと、驚いたこと、

今後の生活で役立つことなど、何でも自由にお書きください。
※お子さまだけ参加された場合は、お子さまのお話・表情などから、保護者の方が感じたこと、思ったことを自由にお書きください。

FA 詳細別シート	67
回答なし	89

Q11：海にまた行くこと、行ってみたいことについて、

ご自身にあてはまるものをお選びください。
（なお、ご自身が参加されていない場合は、お子さまが海に行くことについてお答えください。）

1：行ってみたい（行かせたい）	95
2：やや行ってみたい（やや行かせたい）	27
3：あまり行きたくない（あまり行かせたくない）	0
4：行きたくない（行かせたくない）	1
回答なし	33

Q12：今回のイベントは「海と日本PROJECT」です。

海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ、ひとりひとりが自分ごととしてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目的としたプロジェクトです。
このプロジェクトについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

1：知っている	16
2：今回の参加で初めて知った	97
3：知らない	12
回答なし	31

Q13：日本財団が「海と日本PROJECT」を手がけています。

この点について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

1：知っていた（今回の参加前から）	7
2：今回プロジェクトに申し込み、参加して知った	84
3：知らない	37
回答なし	28

Q14：日本財団について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

1：申し込み／参加前から存在を知っている	30
2：今回の申し込み／参加で知った	59
3：知らない	33
回答なし	34

NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) 活動紹介

(引用 : <http://fields.canpan.info/organization/detail/1170563496>)

【団体の概要】

NPO 法人 ELP (Earth Literacy Program) は“地球リテラシー”——すなわち最新科学の知見に基づいた新たな地球認識を広く普及し、気候変動対策・防災・自然資本保全などの地球的課題に対する関心や行動を喚起してゆくことを目的に活動しています。

特に本法人の代表理事・竹村眞一（京都造形芸術大学教授）が中心となって独自開発した世界初のデジタル地球儀「触れる地球」Tangible Earth を駆使して、若い世代にも訴えるヴィジュアルな展示手法で地球という星の魅力や環境問題を見える化。

「触れる地球ミュージアム」などの展示イベント、「子ども地球教室」などの催事を頻繁に開催。小中高校での「触れる地球」出張授業も行なってきました。

（標準仕様「中型普及版」触れる地球は、発案・ライセンス提供元；ELP、製造・販売委託先；JVC ケンウッド。）

この地球儀は、海洋研究開発機構、国立環境研究所、JAXA など第一線の科学研究機関から提供された科学データに基づき、海流・海面温度、地震・津波、大陸移動、渡り鳥や海洋生物のグローバルな移動軌跡、海洋気候変動（エルニーニョ現象等）、地球環境への人間活動の影響（大気汚染物質の越境移動、CO2 排出、オゾンホール、森林減少、地球温暖化など）をダイナミックな動画像で球体に映し出します。

またインターネット経由で、常時ほぼリアルタイムの気象情報や世界各地のライブ映像を取得して表示します。子どもにも理解しやすい形で地球環境への意識啓発を行うことができます。

こうした「リスク・コミュニケーション」分野でのノウハウや実績が国連本部に

も認知され、UNISDR；国連防災戦略事務局からは『国連防災白書』Global Assessment Report on Disaster Risk Reduction のコンセプト監修及びコミュニケーション・デザインを委託されて 2013 年版、2015 年版、2017 年版を編集（現在 2019 年版を作成中）。

国連防災会議（2013 年ジュネーブ国連本部、2015 年仙台、2017 年カンクン・メキシコ）では、編集に携わった「国連防災白書」の最新データを駆使して「触れる地球」の展示・デモ講演を行ないました。UNESCO “ESD”（Education for Sustainable Development）名古屋会議や国連気候変動会議 COP15、伊勢志摩サミットでも同様の展示を行なっています。

2016 夏の東京駅前（行幸地下通路）「触れる地球ミュージアム」（主催；触れる地球の会、企画制作；ELP、後援；環境省・文部科学省・農林水産省）では 3 ヶ月で 9 万人の来場者に対し、海洋や気候変動に関する意識啓発を行ないました。2017 年夏は 2 期に分けて開催。また東日本大震災の被災地の子ども達に対しても「触れる地球」授業をしばしば行い（福島の子どもの達対象の「アカデミーキャンプ」、福島県環境創造センター開設記念講演等）、岩手県・久慈市の水族館「もぐらんぴあ」にも、地球環境や海洋教育の啓発ツールとして常設されています。

<代表者；竹村眞一略歴>



1959 年生まれ。東京大学文学部哲学科卒、東京大学大学院・文化人類学博士課程修了。（財）アジアクラブ主任研究員、東北芸術工科大学教授などを経て現在、京都造形芸術大学教授。人類学的な視点から地球環境問題や IT 社会を論じつつ、「触れる地球」など IT 技術を活用した地球環境問題への独自の取り組みを進める。その活動母体として NPO 法人 ELP（Earth Literacy Program）を設立運営、代表理事を務める。

「触れる地球」は05年；通産省グッドデザイン賞・金賞、13年；経産省キッズデザイン最優秀・内閣総理大臣賞を受賞。「100万人のキャンドルナイト」、「Water展」「コメ展」（六本木デザインサイト 21_21）、東京丸の内「触れる地球ミュージアム」などを企画・制作。

2011年の東日本大震災後、政府の「復興構想会議」専門部会委員に就任。国連UNISDR（国連防災機構）からの委嘱で、2012年以降『国連防災白書』を監修。2015年「食の万博」ミラノ博では日本館の展示を企画・監修。またJ-waveナビゲーターとして「アーストーク」をホスト。

著書に『地球の目線』（PHP新書）、『宇宙樹』『22世紀のグランドデザイン』（慶応大学出版会）、『地球大学講義録』『地球を聴く』（坂本龍一氏との対談；日経新聞社刊）、『新炭素革命』（PHP）など。『宇宙樹』は高校の国語の教科書にも採録されている。

【設立以来のおもな活動実績】

・ 「触れる地球ミュージアム」（2016年8～10月）

東京都の認可を受け、東京駅前・行幸通り地下通路にて開催（企画制作；ELP、主催；一般社団法人「触れる地球の会」、後援；環境省・文部科学省・農林水産省・千代田区）。3ヶ月の期間中に約9万人の来場者を集め、夏休み中はほぼ連日「触れる地球」を使った子ども向け地球講座を開催。宇宙飛行士の山崎直子氏や隈研吾氏、佐藤卓氏らゲスト講師も招き、宇宙や「海」「森」から地球を考えるセミナーも開催（イベント参加者は計1500名）。

「触れる地球ミュージアム」ホームページ；

<http://earth-museum.jp/marunouchi/>

・ 「触れる地球ミュージアム」（2017年7月～10月）

2016年と同様に、東京駅前・行幸通り地下通路にて開催（主催；ELP、後

援；環境省・文部科学省・農林水産省、特別協賛；日本財団「海と日本プロジェクト」)。前期(7月14日から8月6日まで)と後期(9月15日から10月15日まで)実質開館52日間、計58,391名が来場。会期中、土日を中心に「触れる地球」を使った子ども向け地球講座「子ども地球教室」を開催(イベント参加者数は計1,078名)。気象予報士の森田清輝氏や山形俊男氏、佐藤圭一氏らゲスト講師も招き、「水問題」「エネルギー問題」「海洋や宇宙空間の利活用」「AI」などから地球の未来を考えるセミナー「地球未来塾」も開催(イベント参加者は計647名)。

「触れる地球ミュージアム」ホームページ；

<http://earth-museum.jp/marunouchi/>

・ 『国連防災白書』コンセプト監修・コミュニケーションデザイン(2012年～)

ジュネーブ国連本部(UNISDR；国連防災戦略事務局)より『国連防災白書』Global Assessment Report on Disaster Risk Reductionの情報デザインを委嘱され、リスクコミュニケーション・ツールとしての「触れる地球」のノウハウを活用して2013年版、2015年版、2017年版を編集(現在2019年版を作成中)。

iPad等で閲覧可能なタブレット版「触れる地球」(液晶画面上の3D地球像に地球温暖化や台風・津波など自然災害のデータを表示)を独自開発し、印刷版の白書ともAR機能で連動する形で電子版『国連防災白書』(GAR for Tangible Earth；”GfT”)を企画・制作。白書全体の構成や編集コンセプトも監修。

<http://www.preventionweb.net/english/hyogo/gar/2015/en/home/gft.html>

<http://www.desinventar.net/gft.html>

国連防災会議(2013年ジュネーブ国連本部、2015年仙台)では「触れる地球」も展示しデモ講演。

<https://www.youtube.com/watch?v=-70o86hPyqQ>

・ 伊勢志摩サミットで「触れる地球」展示(外務省からの委託)

洞爺湖G8サミット(2008年)に続き、2015年の伊勢志摩サミットでも「触れる

地球」を IMC（国際メディアセンター）の先端技術展の一環として展示。

<https://youtu.be/tEhVtDRnPiQ>

（外務省「国際メディアセンターにおける広報展示」の動画中；1分10秒前後を参照）

- ・ 小中高校での「触れる地球」授業

世田谷区砧南小学校での授業の様子が下記 HP に紹介。（その他、ノートルダム小中学校、埼玉県のスーパサイエンス高校＜熊谷高校、川越女子高校＞などで実施）

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/pc/article/interview/20131219/1116003/?rt=nocnt>

- ・ 子ども向け「触れる地球」レクチャー（TEDxKids）

<https://www.youtube.com/watch?v=sdS7sgImCE0>

- ・ 海外での「触れる地球」デモ講演

Global Philanthropy Forumでの基調講演（2014年サンフランシスコ）

<https://www.youtube.com/watch?v=0v9UYqEEf28>

【定款に記された団体の目的】

<目的等>

この法人は地球環境問題に認識のある人だけでなく、問題意識のない人に対してもセミナーや交流会、シンポジウムを通じ、デジタル機器を効果的に使用して正しい知識と最新の情報を提供し、問題意識を高め、ともに解決方法を探りながら、より良い地球環境の保全に寄与することを目的とする。上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

1) 社会教育の推進を図る活動

- 2) 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動
- 3) 環境の保全を図る活動
- 4) 国際協力の活動
- 5) 情報化社会の発展を図る活動
- 6) 科学技術の振興を図る活動
- 7) 職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動
- 8) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡助言、または援助の活動

<事業>

- 1) 特定非営利活動にかかる事業
 - ① 地球環境保全に関する情報の制作、発信、交流に関する活動
 - ② 地球環境保全に関する研究、開発、啓もう活動
 - ③ 環境問題に関心のある一般市民を対象とした交流会、講演会の企画及び運営
 - ④ 学童、生徒及び学生を対象とした環境問題について関心を高めさせる事業
 - ⑤ 上記事業に関する活動支援、及び情報提供事業
 - ⑥ その他、前各号の目的を達するために必要な事業

- 2) その他の事業
 - ① 関連 IT 機材及びビジュアル機材の設計、製作、請負事業
 - ② 関連 IT 機材及びビジュアル機材のコンテンツ制作請負及びコンサルタント事業
 - ③ 環境問題や地球環境保全に関する本の出版及び販売事業

【団体の活動・業務（事業活動の概要）】

・デジタル地球儀「触れる地球」のシステム・コンテンツ開発

スケールが大きすぎて実感を持ちにくい地球的課題（気候変動、海洋・森林保全、資源制約、人口・都市問題、防災ほか）を、子どもでもわかりやすく、かつ全国

の学校・博物館でも活用いただけるようなヴィジュアルな教材として開発すべく、「触れる地球」のさらなるシステム・コンテンツ進化、またその情報編集ノウハウの多系展開（たとえばタブレット版・触れる地球の制作やAR技術を活用した本の出版など）を行なっています。

ジュネーブ国連本部（UNISDR；国連防災戦略事務局）から5年来、情報デザイン監修を委託された『国連防災白書』およびそのデジタル版（国連の公式アプリ“GfT”；タブレット版「触れる地球」）はその一例です。

<http://www.preventionweb.net/english/hyogo/gar/2015/en/home/gft.html>

<http://www.desinventar.net/gft.html>

・「触れる地球ミュージアム」（展示イベント）

2016年夏に東京都の認可を受け、東京駅前・行幸通り地下通路にて開催した本企画は、本年2017年も多彩なゲスト講師も招くトークイベントとともに開催（企画制作 ELP）。

参考；「触れる地球ミュージアム」ホームページ

<http://earth-museum.jp/marunouchi/>

また、こうした「触れる地球」を活用した展示・イベント開催のノウハウを求める地方科学館や教育現場からの要望に基づき、地方科学館などに簡単に移設できるような「ミュージアム展示の簡易パッケージ化」も準備しています。

（たとえば船橋環境学習館など首都圏の博物館への展示パッケージ提供、説明員の派遣などを2017年度の事業の一つとして進めました。）

・ 教育セミナー企画開催；

- 1) 子ども向け～「触れる地球ミュージアム」を主催地として、特に夏休み期間や土日祝日を中心に「子ども地球教室」等を開催。
- 2) 学生向け～地球的課題に取り組む先進企業の環境CSV事業の担当者を講師に招き、学生向けのセミナー開催（「未来をつくる仕事」など）。
- 3) 企業人向け～「触れる地球」を使った企業人向けの環境意識啓発の講

演会を、企業からの依頼に応じて年に十数回開催。また「地球価値創造」(CPV; Creating Planetary Value) をテーマに、ELP 主催で企業人向けに連続セミナーを企画開催。

【現在特に力を入れていること】

1) 真に「地球目線」を持つ“地球人”の育成

東京駅前「触れる地球ミュージアム」には3ヶ月で9万人の熱心な来訪者を迎えたとはいえ、私たちの地球リテラシー育成活動は、ようやく多くの市民や子ども達、企業人に届く足掛かりを得たという段階です。これを真にマスのレベルで広がる活動にしてゆく使命(ミッション)を感じており、特に公共空間でのミュージアム活動や学校現場への出張授業・教育プログラム提供に力を入れていきたいと考えています。

2) 「海」や「水」の視点から地球や日本を考えるリテラシーの育成

東洋のベニスと言われた江戸・東京も、近代的な都市設計や陸上交通の発達、特に東京五輪 1964 以降の水路の暗渠化・高速道路化により、「水」や「海」の側から都市を経験する回路を失いました。こうした“水に背を向けた”都市・文明設計のあり方は、近年の洪水や津波災害、近未来の海面上昇を考える時、潜在的なリスク要因とも考えられます。

また、こうした陸上中心的な視点への偏向は、海に囲まれた「海洋国家」としての日本の将来的なポテンシャルを正當に評価し得ない危険性をはらんでいます。

こうした問題意識に基づき、私たちは「水球」としての地球の美しさ、豊かさ、面白さを効果的に訴求する「触れる地球」とその展示(ミュージアム活動)をフルに活かしつつ、「海」から地球と日本の未来を考える視点の再生、“水球人”としてのリテラシー育成に力を入れたいと考えます。

3) 地球環境教育の人財育成

「触れる地球」を的確に使いこなし、主宰ミュージアムでのデモンストレーション解説のみならず、地方博物館や学校現場に派遣も可能な解説員の養成に力を入れています。そのための「地球ナビゲーター育成講座」を定期的に関催。現在、その受講生通算 50 名が主宰イベント「触れる地球ミュージアム」その他で活動しています。

この 50 名をこれから 2、3 年で数百名、数千名単位の広がりへと拡張し、全国・全世界の教育現場や博物館に派遣しうるようなネットワーク組織態勢を構築して参りたいと考えています。

4) 子ども向け、学校現場向けの教育プログラム開発

「触れる地球」は子どもや IT 環境に慣れた若者にも訴求力のあるヴィジュアルツールですが、その使い勝手（ユーザーインターフェイス）とともに、コンテンツ（解説内容）の分かりやすさという点では、まだまだ改善の余地があります。

また小学校低学年以下を対象としたプログラムは未解決の宿題です。

そこで特に「子ども向け」の解説・教育プログラムを、東京駅前の触れる地球ミュージアム等を拠点に鋭意開発・実験してゆく予定です。

また高校生向けの授業プログラムを、東京都品川区の品川女子学院や埼玉県のスーパサイエンス高校など、高校の先生や生徒達とも連携しながら継続的に開発・制作中。また、荒川区の中学校の教育現場とも連携してプログラム開発を予定します。

5) 「触れる地球」という機器だけに依存しないソフトウェア・プログラム開発
国連タブレット版・触れる地球“GFT”もその一例ですが、さらに一般の家庭や学校にある通常のアナログ地球儀を AR 機能でデジタル地球儀（触れる地球）に変換する仕組みも開発中。今年中に学校現場などに普及させてゆく予定（2017 年 5 月下旬のメキシコでの「国連防災会議」でプロトタイプを発表）。

以上

